

# HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

---

調達

ビルド番号 : 449



## 法的制限事項

### 保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

### 限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、またはコピーするには、HPから有効なライセンスを取得する必要があります。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

### 著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

# 目次

はじめに . . . . .	13
調達モジュールの使用ユーザ . . . . .	13
調達モジュールの使用目的 . . . . .	14
本マニュアルの使用方法 . . . . .	14
本マニュアルの使用方法 . . . . .	16
実用例に関する一般情報 . . . . .	18
表記法 . . . . .	19
<b>I. 概要 . . . . .</b>	<b>21</b>
<b>1. 一般概念 . . . . .</b>	<b>23</b>
カタログ . . . . .	23
調達サイクル . . . . .	25
特定テーブルでの階層属性の影響 . . . . .	28
<b>2. 準備段階 . . . . .</b>	<b>31</b>
<b>3. 適切な参照レコード . . . . .</b>	<b>35</b>
基本概念 . . . . .	35
実用例1 - 適切な参照レコード . . . . .	36

<b>4. カタログ</b>	<b>45</b>
基本概念	45
手順	48
実用例2 - 単純カタログ	49
実用例3 - 製品オプション	54
<b>5. 調達サイクル</b>	<b>59</b>
基本概念	59
調達サイクルのトラッキング	60
実用例4 - 完全調達サイクル	61
<b>6. 依頼</b>	<b>67</b>
基本概念	67
手順	68
実用例5 - 標準依頼	74
<b>7. 見積</b>	<b>77</b>
基本概念	77
手順	78
<b>8. 発注</b>	<b>83</b>
基本概念	83
標準発注	84
一括発注	87
実用例6 - 一括発注	90
<b>9. 受領、実行、作成、返却</b>	<b>95</b>
基本概念	95
手順	96
実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する	101
<b>10. 請求書</b>	<b>109</b>
基本概念	109
手順	109
<b>11. コスト</b>	<b>113</b>
基本概念	113

実用例15 - コスト . . . . .	116
<b>II. 特別な例 . . . . .</b>	<b>127</b>
<b>12. 複合製品 . . . . .</b>	<b>129</b>
基本概念 . . . . .	129
実用例8a - 複合製品 . . . . .	130
実用例8b - 複合製品 . . . . .	136
<b>13. 計量単位 . . . . .</b>	<b>143</b>
基本概念 . . . . .	143
実用例9 - 計量単位 . . . . .	144
<b>14. パッケージング . . . . .</b>	<b>151</b>
基本概念 . . . . .	151
手順 . . . . .	152
実用例10a - パッケージング . . . . .	153
実用例10b - パッケージング . . . . .	158
<b>15. 予約 . . . . .</b>	<b>165</b>
基本概念 . . . . .	165
手順 . . . . .	165
実用例11 - 予約 . . . . .	167
<b>16. 交換 . . . . .</b>	<b>179</b>
基本概念 . . . . .	179
手順 . . . . .	179
実用例12 - 交換 . . . . .	180
<b>17. 作業指示 . . . . .</b>	<b>185</b>
基本概念 . . . . .	185
手順 . . . . .	186
実用例13 - 作業指示 . . . . .	188
<b>18. 在庫の自動再発注 . . . . .</b>	<b>195</b>
<b>19. リース . . . . .</b>	<b>197</b>

基本概念	197
手順	198
<b>20. 契約</b>	<b>201</b>
基本概念	201
手順	201
実用例14 - 契約	203
<b>III. 付録</b>	<b>211</b>
<b>A. 用語解説</b>	<b>213</b>
資産	213
カタログ	214
分類規格	214
分類コード	214
発注	215
依頼テンプレート	215
発注された品目を受領前に作成する	215
調達サイクル	216
依頼	216
標準依頼	216
見積	217
ポートフォリオ品目	217
実行	218
請求書	218
オプショングループ	218
依頼明細	218
発注明細	219
見積明細	219
請求明細	220
受領明細	220
モデル	220
属性	221
オプション	221
製品	222
返却	222
受領	222
カタログリファレンス	223
予約	223
オーバースペック	223
計量単位	223

インデックス . . . . . 225



# 図の一覧表

1.1. カタログ - 作成 . . . . .	24
1.2. 調達サイクル - 段階の概要 . . . . .	25
1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明 . . . . .	26
4.1. オプション - 原則 . . . . .	47
6.1. 調達サイクル - 依頼 . . . . .	68
7.1. 調達サイクル - 見積 . . . . .	78
8.1. 調達サイクル - 発注 . . . . .	84
9.1. 調達サイクル - 受領 . . . . .	96
10.1. 調達サイクル - 請求書 . . . . .	109
13.1. 計量単位 . . . . .	143



# 表の一覧表

1. 調達モジュール - 関連従業員	13
1.1. カタログ - 作成	24
1.2. 調達サイクル - 段階	26
1.3. 階層テーブル - 影響	28
2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス	31
4.1. オプション - 原則	47
5.1. 調達サイクル - 段階	59
5.2. 調達サイクル - [トラッキング] タブ内のアイコン (調達)	61
6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート	72
6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート	74
8.1. 依頼 - 発注の受諾ワークフローチャート	86
11.1. 経費 - 資産	114
11.2. 経費 - 研修	115
11.3. 経費 - 契約	115
11.4. 経費 - 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示	115
11.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示	116
17.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート	187
17.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート	188



# はじめに

## 調達モジュールの使用ユーザ

調達は、AssetCenterによる商品およびサービスの調達管理を希望する企業向けです。

調達モジュールは、以下のユーザが使用します。

表 1. 調達モジュール - 関連従業員

タスク	従業員
カタログを管理する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 調達部管理者</li><li>■ 購入者</li></ul>
依頼を管理する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 自分の依頼を作成する従業員</li><li>■ 他の従業員の依頼を記録する従業員</li><li>■ 依頼を承認する従業員</li></ul>
見積と発注を管理する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 発注する従業員</li><li>■ 発注を承認する従業員</li></ul>
受領および返却を管理する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 発注された製品とサービスを受領および返却する従業員</li></ul>
請求書を管理する	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 請求書を記録する従業員</li></ul>

---

## 調達モジュールの使用目的

調達モジュールでは、以下の製品およびサービスの取得を管理できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 契約の使用
- 研修会
- ケーブル

調達モジュールでは、これらの品目を受領するときに品目をそれぞれのテーブルに作成できます。

---

## 本マニュアルの使用方法

### 概要の部

#### 一般概念の章

この章では、調達モデルの必要条件、モデルの作成、調達サイクルの管理、商品とサービスの受領時に特定テーブルの階層属性に与える影響について概要を示します。

#### 準備段階の章

この章では、調達モジュールを使用するために必要になる条件とデータベースを準備する方法を説明します。

#### 適切な参照レコードの章

この章では、参照レコードを調達モジュールに合うように構成する方法を説明します。

#### カタログの章

この章では、サプライヤの商品を記述する方法を説明します。

#### 調達サイクルの章

この章では、調達サイクル内の連続的な段階について説明します。

### 依頼の章

この章では、依頼を管理する方法について説明します。

### 見積の章

この章では、見積を管理する方法について説明します。

### 発注の章

この章では、発注を管理する方法について説明します。

### 受領、実行、作成、返却の章

この章では、商品とサービスを受領する方法と返却する方法について説明します。

また、受領プロセスの前にデータベースにレコードを作成する方法について説明します。

### 請求書の章

この章では、受領した商品とサービスの請求書を処理する方法について説明します。

### コストの章

この章では、取得コストにリンクされた情報を管理する方法について説明します。

## 特別な例の部

### 複合製品の章

この章では、製品バンドルを管理する方法について説明します。

### 計量単位の章

この章では、調達プロセスで計量単位を記載する方法について説明します。

### パッケージングの章

この章では、調達プロセスでパッケージングの各種フォームを処理する方法について説明します。

### 予約の章

この章では、ポートフォリオ品目を予約する方法について説明します。

### 交換の章

この章では、資産を交換する方法について説明します。

### 作業指示の章

この章では、作業指示の取得を管理する方法について説明します。

### 在庫の自動再発注の章

この章では、自動による在庫再発注を管理する方法について説明します。

### リースの章

この章では、リース資産の取得を管理する方法について説明します。

### 契約の章

この章では、発注した資産と契約間を管理する方法について説明します。

## 付録の部

### 付録用語解説

用語解説では、調達モジュールで使用される基本用語の定義を示します。

---

## 本マニュアルの使用方法

プロファイルによって異なる本マニュアルの使用方法を以下に示します。

### AssetCenter調達モジュールの実装者

実装者の場合、本マニュアルを全部読んでモジュールの全容を把握することをお勧めします。

### 調達部管理者

- 1 一般概念 [ 献 23]の章

### 購入者

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 カタログ [ 献 45]の章

- 3 調達サイクル [ 献 59]の章
- 4 依頼 [ 献 67]の章
- 5 見積 [ 献 77]の章
- 6 コスト [ 献 113]の章
- 7 複合製品 [ 献 129]の章
- 8 計量単位 [ 献 143]の章
- 9 パッケージング [ 献 151]の章
- 10 予約 [ 献 165]の章
- 11 交換 [ 献 179]の章
- 12 作業指示 [ 献 185]の章
- 13 在庫の自動再発注 [ 献 195]の章

## 依頼を記録するユーザ

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 調達サイクル [ 献 59]の章
- 3 依頼 [ 献 67]の章
- 4 パッケージング [ 献 151]の章
- 5 予約 [ 献 165]の章
- 6 交換 [ 献 179]の章

## 依頼を承認する従業員

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 依頼 [ 献 67]の章

## 発注する従業員

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 準備段階 [ 献 31]の章
- 3 適切な参照レコード [ 献 35]の章
- 4 カタログ [ 献 45]の章
- 5 調達サイクル [ 献 59]の章
- 6 依頼 [ 献 67]の章
- 7 見積 [ 献 77]の章
- 8 発注 [ 献 83]の章
- 9 複合製品 [ 献 129]の章
- 10 計量単位 [ 献 143]の章
- 11 パッケージング [ 献 151]の章

## 発注を承認する従業員

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 受領、実行、作成、返却 [ 献 95]の章

## 発注を受領するユーザ

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 調達サイクル [ 献 59]の章
- 3 受領、実行、作成、返却 [ 献 95]の章

## 請求書を記録する従業員

- 1 一般概念 [ 献 23]の章
- 2 請求書 [ 献 109]の章

---

## 実用例に関する一般情報

実用例を実行するためには、各手順を指定の順番で全部行う必要があります。

### ヒント:

実用例に指定されたレコードを作成する場合、電子形式（PDFまたはCHM）の本マニュアルから値をコピーしてAssetCenterの必要フィールドに貼り付けることができます。

記載されているのは基本的なフィールドとリンクのみです。その他のフィールドとリンクについては、自分で調べて検討してください。

以下の実用例を最初に実行してから、その他の実用例を実行する必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

## Windowsクライアントを使用している場合

実用例を実行する場合、最初に以下の作業を行う必要があります。

- 1 AssetCenterデモ用データベースに接続します。
- 2 少なくともポートフォリオ、調達、ファイナンス、ケーブル、契約モジュールを使用できるようにします（ [ ファイル / モジュールの起動 ] メニュー）。

---

 **ヒント:**

フィールドの状況依存ヘルプ ( [ Shift + F1 ] キー ) に有用な情報が表示されま  
す。

---

---

## 表記法

本マニュアルで使用する表記法の一覧を以下に示します。

表記法	説明
Java Script code	コードまたはコマンドの例
Fixed-width characters	DOSコマンド、関数パラメータ、またはデータ形式
...	省略したコードまたはコマンド部分
<b>注意:</b> 追加情報	役立つ情報
<b>重要項目:</b> 注意してください。	ユーザにとって重要な情報
<b>ヒント:</b> ユーザへのワンポイント	ワンポイント
<b>警告:</b> 警告	ユーザにとって極めて重要な情報
オブジェクト	AssetCenterインタフェースオブジェクトであるメニューエントリ、タブ、またはボタン。

以下の表記法も使用します。

- 決められた順で実行しなければならない手順は、次のように番号付きのリストで表示します。
  - 1 手順1
  - 2 手順2
  - 3 手順3
- すべての図と表は、章と出現する順番に応じて番号が付けられます。例えば、第2章の4番目の表のタイトルは表2-4が先頭に付きます。



---

# I 概要



# 1 一般概念

---

## カタログ

カタログは、サプライヤに発注する対象を記述するために使用します。  
カタログは、別々の段階で構成されており、以下の図に簡単な説明を示し、表に詳細を示します。

## 図 1.1. カタログ - 作成

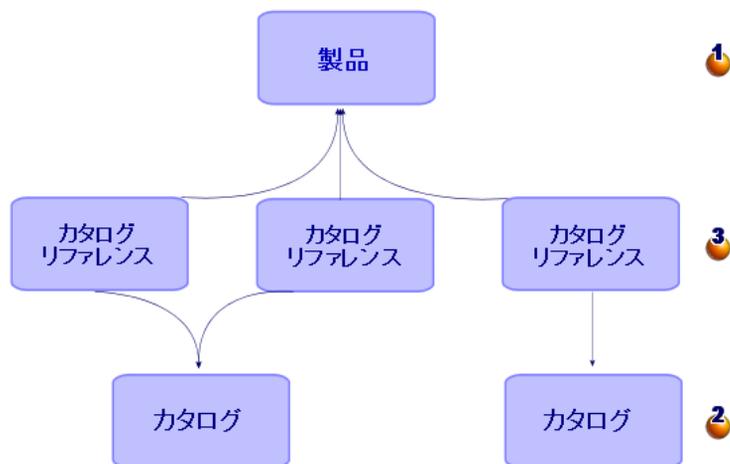


表 1.1. カタログ - 作成

段階	コメント
1 製品	<p>製品を作成することから開始します。</p> <p>製品とは、サプライヤから購入できるハードウェアまたはサービスです。</p> <p>例：HP Compaq dc7600コンピュータ、Microsoft Word 2003の研修</p> <p>製品には、表記価格がありますが、サプライヤの取引条件はありません。</p> <p>カタログの作成には、いくつかの標準化された方法があります。</p> <p>例：UN/SPSC標準</p> <p>製品作成時には、これらの標準に準拠することができます。</p>
2 カタログ	<p>続いて、カタログを作成します。</p> <p>カタログは、任意のサプライヤから製品を取得する時の条件を指定するリファレンスの一式です。</p> <p>例：Computer Companyから入手可能なHP Compaq製品のカタログ</p>

段階	コメント
3 カタログリファレンス	<p>最後に、カタログリファレンスをカタログに追加します。</p> <p>カタログリファレンスは、指定サプライヤの任意の製品を取得するための取引条件を説明します。</p> <p>例：HP Compaq dc7600コンピュータに対するサプライヤComputer Companyの取引条件</p> <p>複数のサプライヤで入手可能な場合、1つの製品が複数のカタログリファレンスによって参照されます。</p>

## 調達サイクル

調達サイクルでは、AssetCenterデータベース（属性、モデル、従業員、場所など）の中心部分も使用します。

▶ 属性 [ 献 221] および モデル [ 献 220]

調達サイクルには次に示す段階が含まれます。下記の最初の図に簡単に説明し、その後の図と表に詳細に説明します。

### 図 1.2. 調達サイクル - 段階の概要

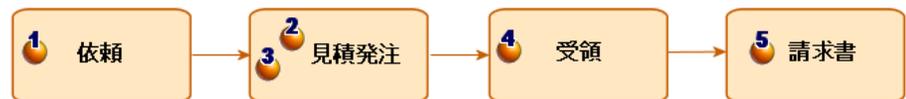


図 1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明

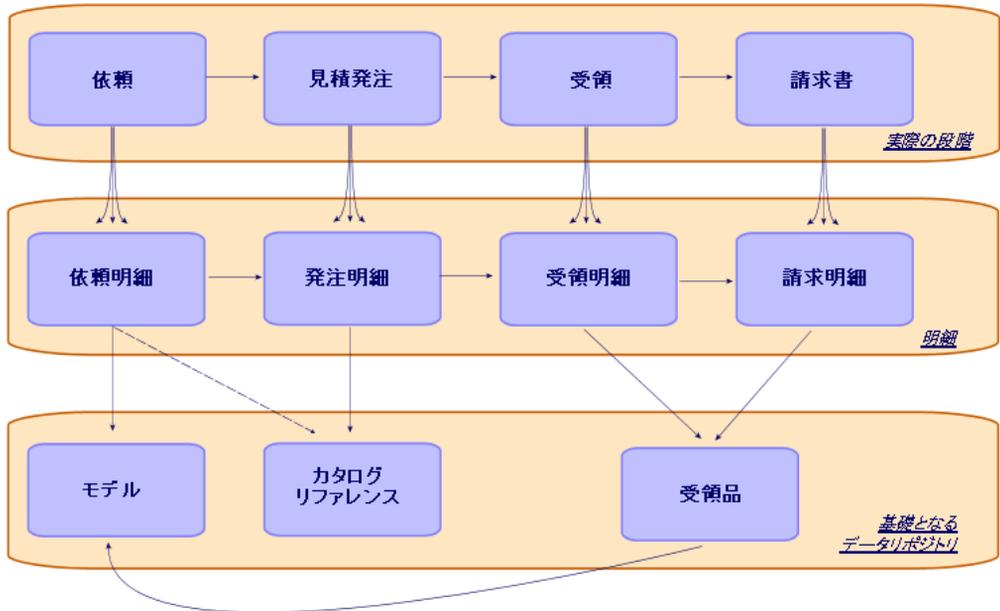


表 1.2. 調達サイクル - 段階

段階	コメント
1 依頼	<p>依頼は要求を記述したものです。</p> <p>依頼は、依頼明細で構成されます。</p> <p>各依頼明細では、モデルを指定します。詳細な情報が必要な場合は、オプションのカタログリファレンスを指定することもあります。</p> <p>見積と発注を作成するための基盤として、依頼が使用されます。</p> <p>依頼明細レベルで選択されたモデルは、品目またはサービスを受領時に作成するために使用されます。</p> <p>依頼明細の階層構造は、受領する品目またはサービスのレベルに引き継がれます。例: コンピュータの依頼明細を作成してから、コンピュータ依頼明細にリンクされた画面の依頼明細を作成します。依頼明細から作成された発注を受領する場合、画面はコンピュータにリンクされます。</p>

## 段階

### 2 見積

## コメント

見積では、任意のサプライヤからの潜在的な購入について記述します。

見積は、見積明細で構成されます。

各見積明細は、カタログリファレンスを参照します。

見積は通常、依頼から作成され、この例の場合、サプライヤごとに別々の見積が作成されます。1つの依頼から無制限に見積が作成されることもあります。

依頼を経由せずに、見積を直接作成することもできます。ただし、モジュール機能への適合性が低下します。

見積は、承認されている場合、発注に変換されます。

### 注意:

見積と発注は、同じテーブルに保存されます。それらの違いは、[ステータス]フィールドです。見積に該当するフィールド値を以下に示します。

- 準備中
- 見積依頼済
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済
- 却下

### 3 発注

発注は、指定のサプライヤから取得する対象について記述します。

発注は、発注明細で構成されます。

### ヒント:

AssetCenterを使用すると、各発注明細が依頼明細に必ず関連付けられます。発注明細を追加するか依頼された数量を増やした場合、発注した時に、不足する依頼明細を作成するようAssetCenterによって指示されます（[発行]ボタン）。

各発注明細は、カタログリファレンスを参照します。

発注は通常見積から作成しますが、依頼から作成することもあります。

また、非常にまれなケースとして発注を直接作成することもあります。

発注は、受領伝票作成の基盤として使用されます。

### 注意:

見積と発注は、同じテーブルに保存されます。それらの違いは、[ステータス]フィールドです。発注に該当するフィールド値を以下に示します。

- 発注済
- サプライヤ側で受諾済
- 処理済

段階	コメント
<p><b>4</b> 受領と返却</p>	<p>受領伝票は、指定サプライヤによって実施された配達を処理する時に受領する対象を記述します。</p> <p>受領伝票は、受領明細と返却明細で構成されます。</p> <p>返却明細の各受領は、発注明細を参照します。</p> <p>受領伝票は通常、発注依頼から作成されます。</p> <p>発注の受領は、単一操作または複数操作で実施されます。</p> <p>また、非常にまれなケースとして受領伝票を直接作成することもあります。</p> <p>発注は、受領伝票作成の基盤として使用されます。</p>
<p><b>5</b> 請求書</p>	<p>請求書は、サプライヤから受領した請求の記録です。</p> <p>請求書は、請求明細で構成されます。</p> <p>各請求明細は、カタログリファレンスを参照します。</p> <p>請求書は通常、発注依頼から作成されます。</p> <p>また、非常にまれなケースとして請求書を直接作成することもあります。</p> <p>発注明細または受領伝票と請求明細との間に直接リンクを作成することはしません。</p>

## 特定テーブルでの階層属性の影響

調達に直接リンクされたテーブルの中で、以下のテーブルが階層構造（レコードが同一テーブル内に親レコードを持つ）であり、細心の注意を払う必要があります。

表 1.3. 階層テーブル - 影響

テーブル	AssetCenterによるレコード間の階層関係の処理
<p>[ モデル ] ( amModel )</p>	<p>モデルの階層構造は、以下の目的を満たします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ レコードを簡単に利用できるように整理する 例：モデルハードウェア/コンピュータ/ラップトップの構造</li> <li>■ 発注を依頼から作成すると、AssetCenterによって、各依頼明細に関連付けられたモデルが特定され、モデルとサブモデルに関連付けられたカタログリファレンスが提供されます。</li> </ul> <p>モデル間の階層リンクが受領時に作成されるレコード間の階層リンクに与える影響はありません。</p> <p>モデルを参照してそのモデルがサブモデルにリンクされる依頼明細を作成すると、発注を依頼から作成する場合にAssetCenterによってサブモデルの発注明細が作成されません。</p>

テーブル	AssetCenterによるレコード間の階層関係の処理
[ 製品 ] ( amCatProduct )	<p>製品の階層構造は、依頼を見積の作成ウィザードで見積に変換するか、発注の作成ウィザードで発注に変換する時にAssetCenterによって使用されます。</p> <p>各依頼明細は、ウィザードによってカタログリファレンスに関連付けられます。このカタログリファレンスは製品にリンクされます。AssetCenterにより、本製品および各従属製品に対して発注明細が作成されます。従属製品の発注明細は主製品の発注明細にリンクされます。</p>
[ 依頼明細 ] ( amReqLine )	<p>AssetCenterによって、依頼明細間の階層リンクが受領時に作成されるレコードのレベルまで伝達されます。</p> <p>例: 2つの依頼明細を作成し、片方がもう片方の親であるとしします。これらの依頼明細から発注を作成すると、AssetCenterによって依頼明細ごとに1つの発注明細が作成されます。ただし、発注明細間に階層関係はありません。発注を受領すると、AssetCenterによって、発注明細から2つのレコードが作成され、依頼明細の階層関係を使用して受領品目間に階層リンクが作成されます。</p>
[ 発注明細 ] ( amPOrdLine )	<p>発注明細の階層構造は、参照専用です。デフォルトで、製品間の階層関係が反映されています</p>
[ ポートフォリオ品目 ] ( amPortfolio )	<p>発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、ポートフォリオ品目間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。</p>
[ 契約 ] ( amContract )	<p>発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、契約間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。</p>
[ 作業指示 ] ( amWorkOrder )	<p>発注を受領すると、AssetCenterによって依頼明細間の階層リンクが使用され、作業指示間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAssetCenterによって参照されません。</p>



## 2 準備段階

### 調達モジュールの必要条件

調達モジュールを使用するには、AssetCenterユーザライセンスによって以下のモジュールへのアクセスが付与される必要があります。

表 2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス

必要な機能	ライセンス範囲内で得られるモジュール
調達全般	調達
社内依頼を作成する	ポートフォリオ
これは、ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンクの代わりに [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクを使って購入依頼を作成することと同じです。	
ポートフォリオ品目の取得	ポートフォリオ
ケーブルの取得	ケーブル
作業指示の取得	ポートフォリオ
契約使用の取得	契約
取得経費の管理	ファイナンス
一括発注の管理	契約

### 調達モジュールに伴う本番データベースの作業

データベースを使用するためには、以下の作業を行う必要があります。

- 1 AssetCenterをインストールします。

- 2 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 3 データベースを作成して、調達モジュール専用の業務データをインポートします（下記手順を参照）。
- 4 表調達モジュール-必要なユーザライセンス [ 献 31]に記載されたモジュールを含むユーザライセンスを挿入します。
- 5 AssetCenterを実行します。
- 6 データベースに接続します。
- 7 Windowsクライアントを使用している場合： [ ファイル / モジュールの起動 ] メニューで、表調達モジュール-必要なユーザライセンス [ 献 31]のモジュールを起動します。

### データベース作成時の業務データのインポート

マニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、および削除 / AssetCenter Database Administratorを使ってデータベース構造を作成する」の章に記述されている手順に従います。

[ インポートするデータ ] ページで、 [ 調達 - 業務データ ] を選択します。

### 業務データの既存データベースへのインポート

以下の方法で行います。

- 1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 2 [ ファイル / 開く ] メニューを選択します。
- 3 [ データベース記述ファイルを開く ( 新規データベースの作成 ) ] オプションを選択します。
- 4 AssetCenterインストール先フォルダのconfigサブフォルダにあるファイル gbbase.xmlを選択します。
- 5 データベース作成ウィザードを起動します（ [ アクション / データベースの作成 ] メニュー）。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [ 次へ ] と [ 戻る ] ボタンを使用します）。

[ SQLスクリプトの生成/データベースの作成 ] ページ:

フィールド	値
データベース	レポートのインポート先にするデータベースへの接続を選択します。
作成	業務データをインポートします。
高度な作成オプションを使用	このオプションは選択しません

[ 作成パラメータ ] ページ :

フィールド	値
パスワード	管理者のパスワードを入力します。  注意: AssetCenterデータベース管理者は、[名前] (Name) フィールドがAdminに設定された [部署と従業員] (amEmplDept) テーブル内のレコードです。 データベース接続ログインは、[ユーザ名] (UserLogin) フィールドに保存されます。管理者名はAdminです。 パスワードは、[パスワード] フィールド (LoginPassword) に保存されます。

[ インポートするデータ ] ページ:

フィールド	値
使用可能データ	オプション [ 調達 - 業務データ ] を選択します。
エラー発生時にインポートを中止	このオプションは、問題が発生したときにインポートを中止する場合に選択します。
ログファイル	エラーや警告などすべてのインポート操作を記録するファイルの完全名。

7 ウィザードによって定義したオプションを実行します ([ 終了 ] ボタン)。

#### AssetCenterインストールの詳細について

『インストールとアップグレード』を参照してください。



## 3 適切な参照レコード

---

### 基本概念

調達モジュールで必要になるリポジトリまたは参照レコードは、基本的に次のレコードで構成されます。

- 属性
- モデル
- ブランド
- 部署と従業員
- サプライヤ
- 在庫
- コストセンタ
- コストカテゴリ

モデルには重要な役割があります。モデルは以下の目的で使用されます。

- 依頼明細を作成します。これにより、依頼された対象を指定できます。
- 発注品目が受領された時に発注品目を作成します（ポートフォリオ品目、作業指示、契約、研修、およびケーブル）。

モデルを調達モジュールで使用できるようにするには、[ 購入依頼用に承認済 ]（bRequestable）オプションを選択する必要があります（モデルの詳細画面、[ 全般 ] タブ）。



注意:

調達モジュールで使用可能なモデルを作成するために、すべての属性を使用できます。

## 実用例1 - 適切な参照レコード

### はじめに

この簡単な実用例では、調達管理のための参照レコードの作成を紹介します。以下の実用例では、この実用例で作成したレコードが使用されます。

### 必要条件

必要条件はありません。

### シナリオ

以下のモデルを取得するのが仕事です。

属性	ブランド	モデル
PC1 - コンピュータ	PC1 - HP Compaq	PC1 - デスクトップ
PC1 - 画面	PC1 - HP Compaq	PC1 - XGA画面
PC1 - 画面	PC1 - HP Compaq	PC1 - SXGA画面
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー-256
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー-512
PC1 - 外付けCDライター	PC1 - HP Compaq	PC1 - 外付けCDライター
PC1 - コンピュータ設定		PC1 - セールスエンジニア用の設定
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータのインストール
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータの接続
PC1 - 契約		PC1 - 保証
PC1 - メンテナンス契約		PC1 - メンテナンス契約
PC1 - 契約		PC1 - 契約
PC1 - 研修		PC1 - コンピュータ基礎研修
PC1 - ケーブル		PC1 - 同軸ケーブル

これらのモデルは、会社「PC1 - MySupplier」から取得します。  
会社の従業員に「PC1 - 小林」氏という社員がいます。  
読者の会社には「PC1 - 在庫」という在庫があります。

次のコストカテゴリに対して、会社では経費が割り当てられます。

- PC1 - コンピュータ
- PC1 - ケーブル
- PC1 - 作業指示
- PC1 - 契約
- PC1 - 研修

会社は、資産の減価償却に計算式「PC1 - 定額法」を使用します。

経費は、コストセンタ「PC1 - 本社」に割り当てられます。

## 作成

### 属性の作成

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 属性 ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	コンピュータ (amComputer)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 画面
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - USBキー
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 外付けCDライター
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)

フィールドまたはリンク	値
管理条件 ( seMgtConstraint )	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - コンピュータ設定
作成 ( seBasis )	なし

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - 作業指示
作成 ( seBasis )	作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - メンテナンス契約
作成 ( seBasis )	契約
契約のタイプ ( seCntrType )	メンテナンス

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - 契約
作成 ( seBasis )	契約
契約のタイプ ( seCntrType )	その他

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - 研修
作成 ( seBasis )	研修

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - ケーブル
作成 ( seBasis )	ケーブル

3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### ブランドの作成

- 1 ブランドを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ブランド] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - Freecom

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - HP Compaq

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### コストカテゴリの作成

- 1 コストカテゴリを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / コストカテゴリ] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - ケーブル

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 契約

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 研修

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

#### コストセンタの作成

- 1 コストセンタを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / コストセンタ] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
ラベル ( Title )	PC1 - 本社

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 減価償却の計算式の作成

- 1 減価償却の計算式を表示します (ナビゲーションバーの [ファイナンス / 減価償却 / 減価償却の計算式] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - 定額法

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

#### モデルの作成

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - デスクトップ
ブランド ( Brand )	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - コンピュータ
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
[会計] タブ	
コストカテゴリ ( CostCategory )	PC1 - コンピュータ
会計コード ( AcctCode )	PC1 - CC001
減価償却方法 ( DeprScheme )	PC1 - 定額法
税率 ( pTaxRate )	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - XGA画面
ブランド ( Brand )	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
[会計] タブ	

フィールドまたはリンク	値
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - SXGA画面
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - USBキー-256
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - USBキー-512
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 外付けCDライター
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - セールスエンジニア用の設定
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - コンピュータ設定

フィールドまたはリンク	値
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - コンピュータの接続
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
[作業指示] タブ	
タイプ ( seWOType )	内部メンテナンス
[会計] タブ	
コストカテゴリ ( CostCategory )	PC1 - 作業指示
税率 ( pTaxRate )	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - コンピュータのインストール
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
[作業指示] タブ	
タイプ ( seWOType )	契約外メンテナンス
[会計] タブ	
コストカテゴリ ( CostCategory )	PC1 - 作業指示
税率 ( pTaxRate )	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - メンテナンス契約
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - メンテナンス契約
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
税率 ( pTaxRate )	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - 保証
[全般] タブ	
属性 ( Nature )	PC1 - 契約
購入依頼用に承認済 ( bRequestable )	はい
[会計] タブ	
コストカテゴリ ( CostCategory )	PC1 - 契約
税率 ( pTaxRate )	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 ( Name )	PC1 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 研修
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 研修
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 同軸ケーブル
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - ケーブル
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - ケーブル
タイプ (DeprScheme)	PC1 - 定額法
税率 (pTaxRate)	7.75%

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 従業員の作成

- 1 従業員と部署を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
部署名/姓 (Name)	PC1 - 小林

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### サプライヤの作成

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - MySupplier

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

## 在庫の作成

- 1 在庫を表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 在庫 ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 在庫

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

## 4 カタログ

---

### 基本概念

#### カタログ

カタログを使用すると、同一条件の製品を提供する1つ以上のサプライヤの製品を記述することができます。

---

#### ヒント:

通常、1つのサプライヤを特定の1つのカタログに関連付ける必要があります（[ サプライヤ ] タブ）。

ただし、サプライヤが同一ネットワークに属し同一の取引条件で同一製品を供給する場合、カタログに複数のサプライヤを関連付けることができます。

カタログリファレンスはそのサプライヤに直接リンクされていないことに注意してください。カタログリファレンスのサプライヤは、カタログのサプライヤです。

この理由から、カタログリファレンスの取引条件が [ サプライヤ ] タブに表示されるすべてのサプライヤで同じ必要があります。

---

## サプライヤ参照とモデル間のリンク

サプライヤが製品を記述する方法と、ポートフォリオ内のレコードのリンク先モデルとの間には直接の関係があります。

ただし、それらのうち2つを発注済みカタログリファレンスの受領時にリンクする必要があります。

このリンクは製品を通して行われます。

- サプライヤ側では、製品に関連付けられたカタログリファレンスを発注します。
- ポートフォリオ側では、モデルに関連付けられたレコードを作成します。

製品とモデル間のリンクを使用することで、AssetCenterは発注の受領時にポートフォリオ内にレコードを自動作成します。

このため、AssetCenterはリンク発注明細 -> カタログリファレンス -> 製品 -> モデルに従います。

## 外部カタログのインポート

インポート可能なフォーマットのカタログデータがサプライヤから提示される場合、このインポートおよび更新処理を自動化することができます。

このタスクを実施するためには、HP OpenViewが開発したConnect-Itを使用します。Connect-Itは様々なファイルフォーマットに対応しています。

また、AssetCenterの照合更新モジュールを使用することもできます（▶ マニュアル『照合更新』）。

製品に関連付けられたカタログリファレンスがサプライヤによって提示される場合、それらの各製品をAssetCenter参照レコード内のモデルに関連付ける必要があります。

## オプション

AssetCenterを使用すると、オプションが使用可能な製品を記述できます。

デフォルトで、調達サイクルにはオプションを処理する機能がありません。

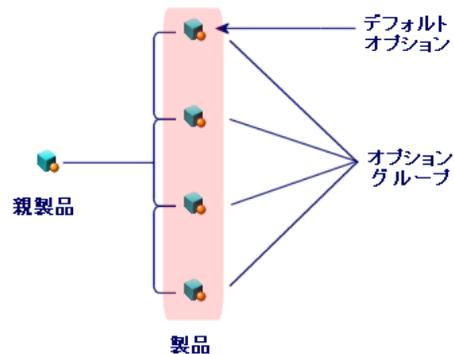
調達サイクルでオプションを管理するためには、ウィザードを作成するか、既存のウィザードを必要に応じて変更します。

オプションに適用する原則を以下に示します。

表 4.1. オプション - 原則

原則	調達サイクルレベルでの結果	例
製品がオプションの従属製品（任意の数）で構成されます。	カタログリファレンスを選択して発注を作成する時に、AssetCenterによって、カタログリファレンスに関連付けられた製品が特定され、主製品の従属製品に発注明細を追加するかどうか自動的に調べられます。	車にはCDプレイヤー、複数枚のドアなどのオプションが使用可能です。
オプションの従属製品がオプショングループに関連付けられます。	発注時に、各オプショングループからオプション製品を選択する必要があります。	オプショングループドアの数には、次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3-door</li> <li>■ 5-door</li> </ul>
オプショングループがオプションまたは必須です。	オプショングループが必須である場合、オプションをオプショングループから選択する必要があります。それ以外の場合、選択はオプションです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オプショングループドアの数が必須です。</li> <li>■ オプショングループCDプレイヤーがオプションです。</li> </ul>
必須のオプショングループがデフォルトオプションに関連付けられます。	発注作成時に、デフォルト値が自動的に使用されます。	オプショングループドアの数は、デフォルトでオプション5-doorに関連付けられます。

図 4.1. オプション - 原則



---

## 手順

### 実行順序

カタログを作成するには、以下の順番で作業するのが最も簡単です。

- 1 カタログを作成します。
- 2 製品を作成します。
- 3 カタログリファレンスを作成します。

### カタログを作成するには

- 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログ ] リンク）。
- 2 カタログを作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

### 製品を作成するには

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク）。
- 2 製品を作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

### カタログリファレンスを作成するには

- 第1の方法:
  - 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログ ] リンク）。
  - 2 リファレンスを追加するカタログを選択します。
  - 3 [ リファレンス ] タブを選択します。
  - 4 リファレンスを追加します（Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ）。
  - 5 レコードの詳細を入力します。
- 第2の方法:
  - 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログリファレンス ] リンク）。
  - 2 リファレンスを新規作成します（ [ 新規作成 ] ボタン）。
  - 3 レコードの詳細を入力します。

## オプション

以下に、オプション付きの製品を作成する主要な手順を示します。

- 1 主製品を作成します。
- 2 オプショングループを作成します。
- 3 オプションを作成します。
- 4 主製品とオプションの従属製品のカタログリファレンスを作成します。

オプショングループを作成するには、次の手順を行います。

- 1 オプショングループを表示します（[管理/画面一覧]、[オプション]テーブル（amProdOption））。
- 2 オプショングループを新規作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

オプション製品を定義するには、次の手順を行います。

- 1 製品を作成します（ナビゲーションバーの[カタログ/製品]リンク）。
- 2 オプション製品を作成します。
- 3 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
親レコード (Parent)	オプションの従属製品の上位の製品を選択します。
オプション (bOption)	このオプションを選択します。
オプショングループ (OptionGroup)	オプションの従属製品がオプショングループに属する場合、このリンクを入力します。
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	オプションの従属製品がオプショングループに属してデフォルトで入力が必要な場合、このリンクを入力します。

## 実用例2 - 単純カタログ

### はじめに

この実用例は、単純カタログを作成する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36] を実行している必要があります。

## シナリオ

ラップトップ「PC1 - HP Compaqデスクトップ」は、会社「PC1 - MySupplier」に発注できるモデルの1つです。

これをカタログ内に記述します。

## 作成

### カタログの作成

- 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログ ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - MySupplier
通貨 (Currency)	USD (米ドル)
[全般] タブ	
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
[作成] をクリックします。	
[サプライヤ] タブ	
	会社「PC1 - MySupplier」にリンクを追加します。
[変更] をクリックします。	
デフォルトのサプライヤ (DefSuppCat)	PC1 - MySupplier

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

### 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - デスクトップ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータのインストール

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - コンピュータのインストール

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 保証
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 保証

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータ基礎研修
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 同軸ケーブル
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 同軸ケーブル

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - デスクトップ
説明 (Description)	PC2 - デスクトップ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	1000
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - コンピュータのインストール
説明 (Description)	PC2 - コンピュータのインストール
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	400
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC2 - コンピュータのインストール ( PC1 - MySupplier )

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 外付けCDライター
説明 (Description)	PC2 - 外付けCDライター
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	150
割引 (pDiscount)	0%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC1 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 保証
説明 (Description)	PC2 - 保証
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	50
割引 (pDiscount)	0%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータ基礎研修
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	200
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC2 - コンピュータ基礎研修 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 同軸ケーブル
説明 (Description)	PC2 - 同軸ケーブル
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	300
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier)

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### デフォルトのモデル用カタログリファレンスの定義

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 以下のレコード (表の最初の行を使用して識別可能) を選択してから、下の表に示すようにフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - デスクトップ
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのカタログリファレンス (DefCatRef)	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) - PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータのインストール
[カタログ情報] タブ	

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのカタログリファレンス (DefCatRef)	PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier) - PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 保証
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのカタログリファレンス (DefCatRef)	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier) - PC2 - 保証 - (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ基礎研修
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのカタログリファレンス (DefCatRef)	PC2 - コンピュータ基礎研修 - PC2 - コンピュータ基礎研修 - (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 同軸ケーブル
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのカタログリファレンス (DefCatRef)	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier) - PC2 - 同軸ケーブル - (PC1 - MySupplier)

3 すべてのウィンドウを閉じます。

## 実用例3 - 製品オプション

### はじめに

この実用例は、オプション付きの製品を作成する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]を実行している必要があります。

## シナリオ

サプライヤ「PC1-MySupplier」では、2種類の画面（必須オプション）と2種類のUSBキー（オプション）を選択できるコンピュータ「PC1-デスクトップ」を販売します。

## 作成

### オプショングループの作成



#### 警告:

このセクションオプショングループの作成 [ 献 55]>には、Windowsクライアントが必要です。

- 1 オプショングループを表示します（ [ 管理 / 画面一覧 ]、 [ オプション ] テーブル（ amProdOption ））。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前（ Name ）	PC3 - 画面
選択必須（ bMandatory ）	はい

フィールドまたはリンク	値
名前（ Name ）	PC3 - USBキー
選択必須（ bMandatory ）	いいえ

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

### 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明（ Description ）	PC3 - オプション付きデスクトップ
ブランド（ Brand ）	PC1 - HP Compaq
[ 全般 ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - XGA画面
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - XGA画面
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップ
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - 画面
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	はい

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - SXGA画面
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - SXGA画面
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップ
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - 画面
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - USBキー-256
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - USBキー-256
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップ
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - USBキー

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのオプション ( bDefaultOption )	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 ( Description )	PC3 - USBキー-512
ブランド ( Brand )	PC1 - Freecom
[ 全般 ] タブ	
モデル ( Model )	PC1 - USBキー-512
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード ( Parent )	PC3 - オプション付きデスクトップ
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション ( bOption )	はい
オプショングループ ( OptionGroup )	PC3 - USBキー
デフォルトのオプション ( bDefaultOption )	いいえ

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します ( ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログリファレンス ] リンク )。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ ( Catalog )	PC1 - MySupplier
[ 全般 ] タブ	
製品 ( CatProduct )	PC3 - オプション付きデスクトップ
説明 ( Description )	PC3 - オプション付きデスクトップ
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 ( fPrice )	900
割引 ( pDiscount )	10%
タブの上のエリア	
リファレンス ( Ref )	PC3 - オプション付きデスクトップ ( PC1 - MySupplier )

フィールドまたはリンク	値
カタログ ( Catalog )	PC1 - MySupplier
[ 全般 ] タブ	
製品 ( CatProduct )	PC3 - XGA画面
説明 ( Description )	PC3 - XGA画面
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します

フィールドまたはリンク	値
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC3 - XGA画面 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - SXGA画面
説明 (Description)	PC3 - SXGA画面
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC3 - SXGA画面 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - USBキー-256
説明 (Description)	PC3 - USBキー-256
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	150
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC3 - USBキー-256 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - USBキー-512
説明 (Description)	PC3 - USBキー-512
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	300
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC3 - USBキー-512 (PC1 - MySupplier)

3 すべてのウィンドウを閉じます。

## 5 調達サイクル

### 基本概念

調達サイクルは連続的な段階で構成されています。

サイクルは、すべての段階が実行される場合に最も適切に使用されます。

特殊なケースで、特定の段階を省略することもできますが、自動的に処理が実行されるという利点がなくなる場合もあります。

例えば、依頼を最初に作成せずに見積を作成すると、見積の [ 発行 ] をクリックしたときにAssetCenterによって依頼が自動作成されます。この場合、依頼明細は階層構造なしで作成されます。階層構造は有用な情報です。これを付与し忘れると、発注の受領時に作成される該当のレコードにも階層構造がなくなります。

表 5.1. 調達サイクル - 段階

段階	段階の特性
依頼	依頼を使用すると、必要な場合にモデルへの参照を作成しカタログリファレンスを使用することによって、要求を記述することができます。 発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

段階	段階の特性
見積	<p>見積を使用すると、実際に行われる発注を記述することができます。</p> <p>見積は、見積もられた状態でまだ行われていない発注です。</p> <p>通常、見積は依頼から作成されます。</p> <p>例外的に、依頼を最初に作成せずに見積を作成する場合があります。この場合、見積の [ 発行 ] をクリックすると依頼が自動的に作成されません。</p>
発注	<p>発注を使用すると、サプライヤの発注済みカタログリファレンスを記述することができます。</p> <p>発注は見積からのみ作成されます。</p>
受領	<p>受領伝票を使用すると、発注明細の受領を記述することができます。</p> <p>必要な場合 (例: 発注明細がカタログリファレンスにリンクされる場合、製品にリンクされる場合、モデルにリンクされる場合、レコードの作成が規定される属性にリンクされる場合)、受領の作成によって、適切なテーブル (例: [ ポートフォリオ品目 ] テーブル) にレコードが作成されます。</p> <p>受領伝票は、まだ受領されていない発注明細を参照することによって作成されます。</p>
請求の記録	<p>請求書を使用すると、サプライヤが送った請求の記録を作成することができます。</p> <p>請求書を作成する最も理にかなった方法は、受領伝票の詳細から作成する方法です。</p>

## 調達サイクルのトラッキング

### 警告:

これは、Windowsクライアントでは可能ですが、Webクライアントでは不可能です。

調達サイクルの管理上の表示は、以下のレコードの詳細画面に [ トラッキング ] を表示することによって取得可能です。

- 依頼
- 見積 / 発注
- 受領
- 請求書

[ トラッキング ] タブに情報をまとめる方法は、表示されるテーブルによって決まります。情報は、表示されるレコードから見て整理されます。

この画面は、ツリー構造で表示されます。

分岐点をクリックすることによって、サイクルの各種パラメータを表示することができます。

例えば、依頼の詳細画面で分岐点 [ 依頼明細 ] をクリックすると、依頼に応えるために取得しなければならない品目を表示できます。

同様に、[ 関連する見積 ] の分岐点をクリックすると、さまざまな依頼品目から作成された見積が表示されます。

任意の見積を選択することによって開始する場合、見積に対応する依頼、発注、および受領伝票が表示されます。

これらの項目のいずれかをダブルクリックすると、その項目の詳細画面にアクセスできます。

## トラッキングアイコン

次のアイコンによって、依頼、発注、見積、受領の明細の現在のステータスが一目でわかります。

表 5.2. 調達サイクル - [ トラッキング ] タブ内のアイコン ( 調達 )

アイコン	意味
	その明細を含んでいる依頼は承認済です。
	その明細を含んでいる依頼は承認待ちまたは承認中です。
	その明細を含んでいる依頼は却下されました。
	その依頼明細の発注数。この例では3です。
	その依頼明細の受領数。この例では3です。
	その依頼明細の納品待ちの物件の数量。この例では1です。
	依頼、見積、または発注明細がすべて受領済です。

## 実用例4 - 完全調達サイクル

### はじめに

この実用例は、完全調達サイクルが段階から段階へどのように移行変わるかを示すことを目的としています。

サイクル内での各段階における機能の完全な範囲を示すことを目的にはしていません。これについては後述します。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]

- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

## シナリオ

- 「PC1 - 小林」氏は、コンピュータ「PC1 - デスクトップ」が必要です。
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積が承認されます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 資産が受領されます。
- 資産の請求が登録されます。

## 作成

### 依頼の作成

- 1 依頼を作成...ウィザードを開始します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成... ] リンク）。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
ブランド	PC1 - HP Compaq
[ フィルタを適用 ] ボタンをクリックします。	
モデル	PC1 - デスクトップ
[ 追加 ] の右のフィールド	1
[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
ユーザ	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します（ [ 終了 ] ボタン ）。	
ウィザードを終了します（ Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ）。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
ステータス ( seStatus )	準備中
[ 明細 ] タブ	
	モデル「PC1-デスクトップ」に対応する依頼明細

- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( amRequest )	PC4 - REQ001

- 5 依頼の変更を確定します ( [ 変更 ] ボタン )。  
6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC4 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。  
2 Windowsクライアント : [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。  
3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 見積の作成PC4 - REQ001 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。	
下の表に、「PC1 - デスクトップ 1 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%」が表示されます。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。  
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
元の依頼 (Request)	PC4 - REQ001 (PC4 - 小林氏用コンピュータ)
[ 明細 ] タブ	見積の作成ウィザードによって選択されたカタログ グリファレンス「PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier)」に対応する発注明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC4 - EST001

- 6 これらの変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積PC4 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。
- 5 この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発注済
[ 全般 ] タブ	
発効日 (dtSent)	現在の日付

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の受領

- 1 発注PC4 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 3 受領ウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[受領] ページ	行「PC2-デスクトップ」を選択し、[受領する数量] 列を「1」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（[終了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[前へ] リンク）。	

- 4 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。  
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデル (PC1-デスクトップ) が表示されます。
[全般] タブ	
ユーザ (User)	元の依頼で選択されたユーザ (PC1-小林) が表示されます。
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜き価格 (900) が表示されます。

- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

## 請求書の保存



### 警告:

このセクション請求書の保存 [献 65]には、Windowsクライアントが必要です。

- 1 発注を表示します（ナビゲーションバーの[調達/発注] リンク）。
- 2 発注「PC4-EST001」を選択します。
- 3 [トラッキング] タブを選択します。
- 4 [受領] の分岐点をクリックします。
- 5 明細「XXX PC1-MySupplier」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 6 発注から作成された受領伝票の詳細が表示されます。
- 7 [請求書] をクリックします。
- 8 ウィザードによって表示されるページを確認して、デフォルトの値を承認します。
- 9 ウィザードの実行を確定します（[終了] ボタン）。
- 10 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[前へ] リンク）。
- 11 受領伝票から作成されたサプライヤの請求書の詳細画面が表示されます。

この請求書の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ (Supplier)	PC1 - MySupplier
[ 明細 ] タブ	1 PC2 - デスクトップ 1 1,000.00 10% 7.75% 969.75

他のフィールドは、サプライヤが送信した請求書に表示される情報を使用して入力されます。

## 6 依頼

---

### 基本概念

依頼の作成には、いくつかの方法を利用できます。

依頼が作成された後は、依頼の明細（[明細]タブの明細リスト）を変更するために複数の方法を利用できます。

---

 **注意:**

[ステータス]（**seStatus**）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼には新規の明細のみを追加できます。

- 準備中
- 標準依頼

---

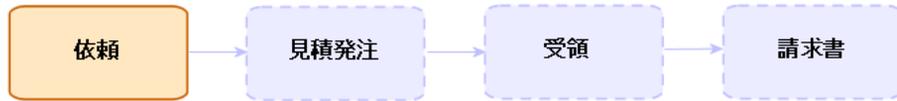
この章では、これらの方法を詳細に説明します。

調達モジュールに関連付けられたシステムデータには、ワークフローチャート「購入依頼の承認」（REQAPPR）があり、これは購入依頼の承認処理をトリガします。

調達に関連付けられた業務データには、ワークフローチャート「依頼の受諾」（REQSATIS）があり、すべての依頼明細が受諾された場合はこれによって[ステータス]（**seStatus**）フィールドが「処理済」に設定されます。

この章では、これらのワークフローについて詳細に説明します。

## 図 6.1. 調達サイクル- 依頼



### 手順

#### 標準依頼から新規依頼を作成する

##### 原則

AssetCenterを使用すると、「標準依頼」という名前の依頼用テンプレートを作成することができます。

標準依頼は、次の目的で使用できます。

- 頻繁に生じる同一の依頼を作成します。
- 購入を標準化します。

##### 重要項目:

依頼明細（[明細]タブ）のみが標準依頼から依頼に伝達されます。

##### 標準依頼を作成する

- 1 標準依頼を表示します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / サービスのカタログ]リンク）。
- 2 新規のレコードを作成します（[新規作成]ボタン）。
- 3 レコードの詳細を入力します。

##### 依頼を標準依頼に変換する

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの[調達 / 依頼]リンク）。

## 💡 ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。 [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、 [ 見積 ] ボタンと [ 発注 ] ボタン (Windowsクライアント) および状況依存アクション (Webクライアント) が表示されないということです。

- 2 標準依頼に変換するため依頼の詳細画面を表示します。
- 3 依頼を複製します ( [ 複製 ] ボタン ) 。
- 4 特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的 ( ReqPurpose )	標準依頼を簡単に識別できる値を使用します。
ステータス ( seStatus )	標準依頼
[ 明細 ] タブ	標準依頼の明細が正しいことを確認します。

## 標準依頼から新規依頼を作成する

- 1 Create a request from a standard request... ( 標準依頼から依頼を作成... ) ウィザードを開始します ( ナビゲーションバーの [ 調達 / Create a request from a standard request... ( 標準依頼から依頼を作成... ) ] リンク ) 。
- 2 Create a request from a standard request... ( 標準依頼から依頼を作成 ) ウィザードに必要な応じて情報を入力します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼は、次の情報を使用して入力されます。

ソース	使用されるフィールドとリンク
標準依頼	依頼明細のみ ( [ 明細 ] タブ )
Create a request from a standard request... ( 標準依頼から依頼を作成... ) ウィザード	[ 新規依頼 ] ページに入力されるフィールドとリンクのみ

- 6 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

## ウィザードでモデルを選択して新規依頼を作成する

- 1 Create a request... (依頼を作成...) ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [ 調達 / Create a request... (依頼を作成...) ] リンク)。
- 2 Create a request... (依頼を作成...) ウィザードに必要な応じて情報を入力します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼は、ウィザードに入力済みの情報を使用して入力されます。
- 6 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

## ウィザードを使用せずに新規依頼を作成する

### ユーザが調達モジュールにアクセスできる場合

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
- 5 依頼明細を作成します。

### ユーザが調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにアクセスできる場合

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンク)。

---

#### ヒント:

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。  
[ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、[ 見積 ] ボタンと [ 発注 ] ボタン (Windowsクライアント) および状況依存アクション (Webクライアント) が表示されないということです。

- 
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
  - 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
  - 4 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
  - 5 依頼明細を作成します。

## Windowsクライアントでは [ 追加 ] ボタン、Webクライアントでは状況依存アクションを使用して依頼明細を追加する

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント : [ 追加 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 追加 ] を選択します。
- 4 ウィザードの依頼にモデルを追加するに入力します。
- 5 AssetCenterによって依頼に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
  - 1 [ 明細 ] タブを選択します。
  - 2 変更する依頼明細の詳細画面を表示します。

## 標準依頼から作り出された依頼明細を追加する

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。

### ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。 [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼 ] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、 [ 見積 ] ボタンと [ 発注 ] ボタン (Windowsクライアント) および状況依存アクション (Webクライアント) が表示されないということです。

- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント : [ 標準依頼 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 標準依頼 ] を選択します。
- 4 ウィザードの依頼の追加に入力します。
- 5 AssetCenterによって依頼に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
  - 1 [ 明細 ] タブを選択します。
  - 2 変更する依頼明細の詳細画面を表示します。

## Windowsクライアントでは[+]ボタン、Webクライアントでは[追加]ボタンを使用して依頼明細を追加する

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの[調達/依頼]リンク）。

### ヒント:

調達モジュールにアクセスできないがポートフォリオモジュールにはアクセスできるユーザは、ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼]リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼]リンクの使用時に適用される唯一の制約は、[見積]ボタンと[発注]ボタン（Windowsクライアント）および状況依存アクション（Webクライアント）が表示されないということです。

- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [明細]タブを選択します。
- 4 Windowsクライアント：[+]ボタンをクリックします。  
Webクライアント：[追加]をクリックします。
- 5 依頼明細の詳細画面に入力します。

## 依頼の承認を自動化する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 [ファイル/開く]メニューから[既存のデータベースを開く]をクリックしてデータベースに接続します。
- 3 モジュール実行グループ'BST\_PROCUR'にワークフロー規則を適用（WkGroupBST\_PROCUR）を設定します（[ツール/モジュールの設定]メニュー）。
  - ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートを実行します。  
以下は、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	[依頼]（amRequest）テーブルにある[ステータス]（seStatus）フィールドを変更する依頼の作成
------------------	--

トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブルの名前 依頼 ( amRequest )	フィールドの名前 ステータス ( seStatus )	フィールドの値 承認待ち
ワークフローチャートによってトリガされるアクション1	ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 依頼内容の承認が呼び出される</li> <li>■ 依頼の [ 技術者 ] ( Technician ) フィールドに指定されたユーザの部署の責任者に割り当てられます。技術者が指定されていない場合、AssetCenterによってその交替従業員が使用されます。 責任者も交替従業員も見つからない場合、AssetCenterによってユーザが使用されます。ユーザが見つからない場合、AssetCenterによってその交替従業員が選択されます。</li> <li>■ 依頼にリンクする</li> <li>■ 依頼内容の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す</li> </ul>		
ワークフローチャートによってトリガされるアクション2	依頼が機能面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 技術の承認が呼び出される</li> <li>■ 技術の承認グループに割り当てられます。</li> <li>■ 依頼にリンクする</li> <li>■ IS承認者に依頼を承認するか却下するかを促す</li> </ul>		
ワークフローチャートによってトリガされるアクション3	依頼が技術面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務の承認が呼び出される</li> <li>■ ファイナンスグループに割り当てられます。</li> <li>■ 依頼にリンクする</li> <li>■ 財務の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す</li> </ul>		
ワークフローチャートによってトリガされるアクション4	依頼が財務面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [ ステータス ] ( seStatus ) フィールドを「承認済」に設定することによって更新します。</li> <li>■ 依頼のステータスに関するメッセージを [ 依頼者 ] ( Requester ) フィールドによって指定された依頼者に送信します。</li> </ul>		

## 依頼ステータスの更新を自動化する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 モジュール実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用 ( WkGroupSTD\_PROCUR ) を設定します ( [ ツール / モジュールの設定 ] メニュー)。
  - ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、依頼の受諾 ( REQSATIS ) ワークフローチャートを実行します。

以下は、依頼の受諾（REQSATIS）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート

ワークフロー チャートをトリガ するイベント	依頼明細が追加されるか、[ 依頼明細 ] ( amReqLine ) テーブルの [ 受領数 ] ( fQtyReceived ) または [ 数量 ] ( fQty ) が更新される		
トリガ対象のワー クフローチャート の条件	テーブルの名前 依頼 ( amRequest )	フィールドの名前 ステータス ( seStatus )	フィールド値 承認済
各依頼明細のレベ ルで実行される承 認	[ 受領数 ] ( fQtyReceived ) フィールドと [ 数量 ] ( fQty ) フィールドが同じ 値であること		
承認が正しい場合 に実行されるアク ション	AssetCenterによって、依頼の [ ステータス ] ( seStatus ) が「処理済」に設定 される		

## 実用例5 - 標準依頼

### はじめに

この実用例は、標準依頼を作成して依頼の作成に使用方法を示すことを目的としています。

調達サイクルの全段階を実行することを目的としているではありません。

### 必要条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36 ] を実行している必要があります。

### シナリオ

- セールスエンジニアに指定する設定を標準化しました。
- 通常は、新人のセールスエンジニア用の設定を指示します。
- セールスエンジニア用の標準設定を標準依頼として記述するつもりです。
- 「PC1 - 小林」氏は、コンピュータの設定を必要としている新人のセールスエンジニアです。
- この要求は、依頼の書式で記録するつもりです。

## 作成

### 標準依頼の作成

- 1 標準依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / サービスのカタログ ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的 (ReqPurpose)	PC5 - セールスエンジニア用の設定
番号 (amRequest)	PC5 - STDREQ001

- 4 依頼の作成を確定します（Windowsクライアントでは [ 作成 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します（Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ）。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - デスクトップ

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップ

- 7 変更を保存します（Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 8 すべてのウィンドウを閉じます。

### 依頼の作成

- 1 標準依頼から依頼を作成ウィザードを開始します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 標準依頼から依頼を作成 ] リンク）。
- 2 標準依頼から依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 標準依頼の選択 ] ページ	

フィールドまたはリンク	値
依頼	PC5 - セールスエンジニア用の設定
数量	1
[次へ] をクリックします。	
[標準依頼から依頼を作成] ページ	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC5 - 小林氏用の設定
ユーザ	PC1 - 小林
[終了] をクリックします。	

- 3 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。
- 4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
目的	PC5 - 小林氏用の設定
ステータス (seStatus)	準備中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[明細] タブ	
標準依頼「PC5-セールスエンジニア用の設定」の 依頼明細	

- 5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC5 - REQ001

- 6 依頼の変更を確定します ([変更] ボタン)。
- 7 すべてのウィンドウを閉じます。

# 7 見積

---

## 基本概念

見積の作成には、複数の方法があります。

見積が作成された後は、見積の明細（ [ 明細 ] タブの見積明細リスト ）を変更できません。

---

### 警告:

見積と発注は同じテーブルに属します。 [ ステータス ] ( seStatus ) フィールドの値によって、両者を区別することができます。

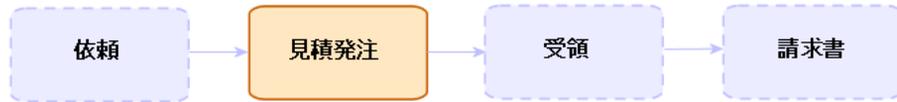
[ ステータス ] ( seStatus ) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積には新しい明細のみを追加できます。

- 準備中
- 依頼テンプレート

---

この章では、各方法について詳細を説明します。

## 図 7.1. 調達サイクル- 見積



### 手順

#### 依頼から新規の見積を作成する

##### 警告:

[ ステータス ] ( seStatus ) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼から見積のみを作成できます。

- 準備中
- 見積済
- 承認待ち

依頼から新規の見積を作成するには

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 見積を作成する依頼を選択します。
- 3 Windowsクライアント : [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 4 ウィザードの見積の作成にすべて入力して実行します。
- 5 ウィザードで作成された見積のリスト (サプライヤごとに1つの見積) が表示されます。
- 6 ウィザードにより入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。

#### 新規の見積を直接作成する

- 1 見積を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 新規見積が表示されます。

- 見積のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。
- 見積明細を作成します。

### Windowsクライアントでは [ Cat ref ] ボタン、Webクライアントでは状況依存アクションを使用して見積明細を追加する

- 見積を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
- 完了する見積の詳細画面を表示します。
- Windowsクライアント : [ Cat ref ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ Cat ref ] を選択します。
- ウィザードのカタログリファレンスを使って発注を完成にすべて入力します。
- 見積に明細が追加されます。
- 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
  - [ 明細 ] タブを選択します。
  - 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

### 見積のサプライヤにカタログリファレンスがないモデルの見積明細を追加する

- 見積を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
- 完了する見積の詳細画面を表示します。
- Windowsクライアント : [ カタログ外 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ カタログ外 ] を選択します。
- ウィザードのカタログ外リファレンスを作成するにすべて入力します。
- AssetCenterが続行する動作は、状況に応じて異なります。

ケース	結果
選択したモデルにカタログリファレンスがない	AssetCenterによって製品とカタログリファレンスが作成され、カタログ外カタログに追加されます。

ケース	結果
別のサプライヤのカタログ内につまたは複数のカタログリファレンスがある	AssetCenterによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。 <b>警告:</b> これにより、見積のサプライヤが同一でなくなるため、見積の整合性の問題が生じます。 この方法で作成された見積明細は、削除する必要があります。
サプライヤのカタログのいずれかにカタログリファレンスがあります。	AssetCenterによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。

- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
  - 1 [ 明細 ] タブを選択します。
  - 2 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

## 発注テンプレートから作り出された見積明細を追加する

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク）。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント： [ 標準発注 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発注テンプレート ] を選択します。
- 4 ウィザードのある発注を使って発注に入力するにすべて入力して実行します。
- 5 見積に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
  - 1 [ 明細 ] タブを選択します。
  - 2 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

## Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ボタンを使用して見積明細を追加する

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク）。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 [ 明細 ] タブを選択します。
- 4 Windowsクライアント： [ + ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 追加 ] をクリックします。

5 見積明細の詳細画面に入力します。



## 8 発注

---

### 基本概念

発注の作成には、いくつかの方法を利用できます。  
この章では、各方法について詳細を説明します。

---

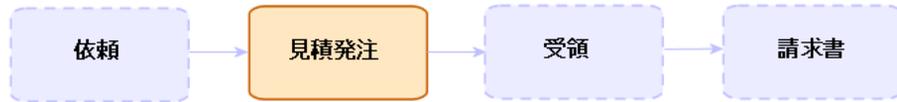
 **警告:**

見積と発注は同じテーブルに属します。[ステータス] (seStatus) フィールドの値によって、両者を区別することができます。

---

発注の明細（ [明細] タブの発注明細のリスト）を変更することはできません。調達に関連付けられた業務データには、ワークフローチャート「発注の受諾」（POSATIS）があり、すべての発注明細が受諾された場合はこれによって [ステータス] (seStatus) フィールドが「処理済」に設定されます。  
この章では、このワークフローチャートについて詳細に説明します。

## 図 8.1. 調達サイクル - 発注



---

## 標準発注

### 手順

#### 見積を発注に変換する

---

 **警告:**

[ ステータス ] ( seStatus ) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積を発注に変換します。

- 準備中
- 見積依頼済
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済
- 却下

---

見積を発注に変換するには

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク）。
- 2 発注に変換するため見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 4 ウィザードの発注するにすべて入力して実行します。  
必要な場合は、作成済みの発注明細のページがウィザードに表示されます。
  - 見積レベルで直接（依頼明細からではなく）
  - 依頼明細からだが、依頼された数量より多い数量ウィザードを確定する前にこのページに入力する場合は注意します。

- 5 必要な場合、依頼および依頼明細の不足や不十分な箇所がAssetCenterによって作成されるか補われます。

---

 **注意:**

ウィザードには、これらの依頼および依頼明細が表示されません。

これらを [トラッキング] タブで検索することはできません。

[トラッキング] タブは、Windowsクライアントにあります。Webクライアントにはありません。

---

ウィザードでは、[ステータス] (seStatus) フィールドが [発注済] に設定されます。

---

### 標準依頼から新規の発注を作成する

---

 **警告:**

[ステータス] (seStatus) フィールドが「承認済」に設定されている場合、依頼から発注のみを作成できます。

---

依頼から新規の発注を作成するには

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク)。
- 2 発注の作成に使用するため依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント: [発注] をクリックします。  
Webクライアント: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発注] を選択します。
- 4 ウィザードの発注の作成にすべて入力して実行します。
- 5 ウィザードによって作成された発注のリスト (サプライヤごとに1つの発注) が表示されます。

---

 **注意:**

ウィザードでは、依頼から発注明細が既に作成済みであるかどうかを確認され、まだ発注されていない品目に対する明細の作成のみが行われます。

- 6 ウィザードによって入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、発注を完了します。
- 7 発注を1つずつ行います。

Windowsクライアント: [発行] ボタン

Webクライアント: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] アクションを選択します。

---

### 発注の更新を自動化する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。

- 2 モジュール実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用 ( WkGroupSTD\_PROCUR ) を設定します ( [ ツール/モジュールの設定 ] メニュー)。
  - ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。
 この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、発注の受諾 ( POSATIS ) ワークフローチャートを実行します。
 

以下は、発注の受諾 ( POSATIS ) ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 8.1. 依頼 - 発注の受諾ワークフローチャート

ワークフロー チャートをトリガ するイベント	発注明細が追加されるか、 [ 依頼明細 ] ( amReqLine ) テーブルの [ 受領数 ] ( fQtyReceived ) または [ 数量 ] ( fQty ) が更新される		
トリガ対象のワー クフローチャート の条件	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
	発注 ( amOrder )	ステータス ( seStatus )	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発注済</li> <li>■ サプライヤ側で受諾済</li> <li>■ 処理済</li> </ul>
各依頼明細のレベ ルで実行される承 認	[ 受領数 ] ( fQtyReceived ) フィールドと [ 数量 ] ( fQty ) フィールドが同じ値であること		
承認が正しい場合 に実行されるアク ション	AssetCenterによって、発注の [ ステータス ] ( seStatus ) が「処理済」に設定される		

## 発注の新規バージョンを作成する



**警告:**

[ ステータス ] ( seStatus ) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、発注の新規バージョンのみを作成できます。

- 発注済
- サプライヤ側で受諾済
- 処理済

発注の新規バージョンを作成するには

- 1 発注を表示します ( ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク )。
- 2 新規バージョンを作成する発注の詳細を表示します。
- 3 Windowsクライアント : [ バージョン ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ バージョン ] を選択します。

アクションの新規バージョンの発注を作成するでは、次の処理が実行されます。

- 発注と見積のリストから発注の旧バージョンが削除されます。
- 旧バージョンの発注のすべての明細品目がその他のレコード（依頼明細など）から切り離されます。  
それらは無効になり、参照専用として保存されます。
- 旧バージョンの発注の [ステータス] (seStatus) フィールドが「キャンセル」に設定されます。
- 新規の発注が作成されます。
- 新規バージョンの発注の [ステータス] (seStatus) フィールドが「準備中」に設定されます。
- 以前の発注明細がまったく同じように新しいバージョンの発注にコピーされます。
- 以前のバージョンの発注明細が新規バージョンの発注の [改訂] タブに表示されます。

新規バージョンの発注は、都合の良い時に変更することが可能で、準備ができたらもう一度実行することができます。

---

## 一括発注

### 基本概念

#### 一括発注の定義

タイプの契約では、購入者は特定の期間、契約で決められた最低金額以上の商品の発注やサービスの利用が義務付けられています。

一般に、このタイプの契約では購入者が割引を利用できます。

#### AssetCenterによる一括発注の管理方法

一括発注は、[契約] (amContract) テーブルに記述されます。

それから、一括発注を基準として発注を作成することができます。

開いている発注へのリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼から作成された発注のデフォルト動作を定義します。

段階	効果
発注	発注がすべて一括発注に含まれていることを明記します。

### ヒント:

1つの発注を使用して一括発注を管理することはできません。発注が行われた後には、明細品目を追加することができなくなります。

同様に、1つの依頼を使用して一括発注を管理することもできません。依頼が発注に変換された後には、依頼明細を追加することができなくなります。

けれども、一括発注の属性とは、複数の発注を含むことです。

### 警告:

発注明細レベルと依頼明細レベルの [ 一括発注 ] ( BlanketPOCntr ) フィールドは、考慮されません。

## 必要条件

一括発注契約の作成が可能になるには、AssetCenterユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスできる必要があります。

## 手順

### 一括発注タイプの契約を作成する

一括発注タイプの契約を作成するには、次の手順に従います。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [ 契約 / 契約 ] リンク)。
- 2 新しい契約を作成します (Windowsクライアントでは [ 新規作成 ] ボタン、Webクライアントでは [ 新規作成 ] 状況依存アクション)。  
特に、次の表に示す依頼のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ ( seType )	一括発注
[ 発注 ] タブ	
契約額 ( mPOCommitment )	発注が義務付けられている最低金額

### 一括発注に含まれる発注が作成されることになる依頼を作成する

依頼から作成された見積と発注を一括発注にリンクするためには、次の表に示す依頼のフィールドとリンクに値を入力する必要があります。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
一括発注 ( bUsesBlanketPO )	はい
一括発注契約 ( BlanketPOCtr )	一括発注契約を選択する

#### 発注を一括発注として考慮する

発注を一括発注として考慮するためには、次の表に示すように発注のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
一括発注 ( bUsesBlanketPO )	はい
一括発注契約 ( BlanketPOCtr )	一括発注契約を選択する

#### 注意:

次に、すべての発注明細を考慮します。

#### 発注額と契約レベルとの照合更新を行う

#### 警告:

リスト内の列の値の合計は、Windowsクライアントでのみ使用できます。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [ 契約 / 契約 ] リンク)。
- 2 一括発注契約の詳細画面を表示します。
- 3 [ 発注 ] タブを表示します。

タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されません。

リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。

この合計は、[ 契約額 ] ( mPOCommitment ) フィールドとの照合更新が行われます。

#### 一括発注の期限が近づいていることを警告する

#### 警告:

アラームの定義は、Windowsクライアントでのみ可能です。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [ 契約 / 契約 ] リンク)。
- 2 一括発注契約の詳細画面を表示します。
- 3 [ 全般 ] タブを表示します。
- 4 [ 終了 ] ( dEnd ) フィールドが入力されていることを確認します。

- 5 をクリックします。
- 6 アラームの詳細画面を入力します。
- 7 アラームの詳細画面を保存します（ [ OK ] ボタン ）。
- 8 契約に加えられた変更を保存します（ [ 変更 ] ）。
- 9 すべてのウィンドウを閉じます。
- 10 アラームをモニタするようにAssetCenter Serverを設定します（▶マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する / アラームの検証（アラーム）モジュール」の節）。

---

## 実用例6 - 一括発注

### はじめに

この実用例は、一括発注を管理する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36 ]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49 ]

### シナリオ

「2006年1月1日」から「2006年12月31日」の期間に、「PC1 - MySupplier」から100,000ドルにあたる商品とサービスを購入する義務があります。

### 作成

#### 発注契約の作成

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [ 契約 / 一括発注タイプの契約 ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC6 - BPO0001
[ 全般 ] タブ	
会社 (Company)	PC1 - MySupplier

フィールドまたはリンク	値
開始 (dStart)	グラフィックのカレンダーを使用して、以下の日付を選択します。 2006年1月1日
終了 (dEnd)	グラフィックのカレンダーを使用して、以下の日付を選択します。 2006年12月31日
[ 発注 ] タブ	
契約額 ( mPOCommitment )	100 000

- 4 契約の作成を確定します。  
Windowsクライアント： [ 作成 ] ボタン  
Webクライアント： [ 保存 ] ボタン
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC6 - デスクトップ
番号 ( amRequest )	PC6 - REQ001
[ ファイナンス ] タブ	
一括発注 ( bUsesBlanketPO )	はい
一括発注契約 ( BlanketPOCtr )	PC6 - BPO0001

- 5 依頼の作成を確定します。  
Windowsクライアント： [ 作成 ] ボタン  
Webクライアント： [ 保存 ] ボタン
- 6 [ 明細 ] タブを選択します。
- 7 下記の表に示すフィールドとリンクを入力することによって、次の依頼明細を追加します (Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] )。

フィールドまたはリンク	値
数量 ( fQty )	1
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ

- 8 依頼明細を追加します (Windowsクライアントでは [ 追加 ] ボタン、Webクライアントでは [ OK ] )。

9 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	承認済

- 10 依頼の変更を確定します ( [ 変更 ] ボタン )。
- 11 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

- 1 依頼PC6 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント : [ 発注 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発注 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ Generate a PC6 - REQ001 purchase order ( PC6 - REQ001発注を作成 ) ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
[ 発注する発注明細のリスト ] リスト	PC1 - デスクトップ 11 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ]	ボタンをクリックします。
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
	<b>警告:</b> 実用例4を実行している場合、ウィザードに複数のカタログリファレンスが表示されません。 下のカタログリファレンスを選択します。
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 [ ファイナンス ] タブを選択し、内容を確認します。  
一括発注へのリンクが依頼から伝達されました。

- 6 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

## 契約と比較された発注ステータスを確認する

---

### 警告:

リスト内の列の値の合計は、Windowsクライアントでのみ使用できます。

---

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [ 契約 / 一括発注タイプの契約 ] リンク）。
- 2 契約「PC6-CO0001」の詳細画面を表示します。
- 3 [ 発注 ] タブを表示します。  
タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されません。  
リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。  
この合計は、[ 契約額 ]（mPOCommitment）フィールドとの照合更新が行われます。
- 4 すべてのウィンドウを閉じます。



## 9 受領、実行、作成、返却

### 基本概念

調達サイクルの間または最後にデータベース内のオブジェクトを作成するには、さまざまな方法があります。

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
内部メンテナンスタイプの作業指示	依頼を実行する <b>注意:</b> これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
契約をポートフォリオ品目にリンクする	依頼を実行する <b>注意:</b> これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
ポートフォリオ品目	発注の受領	発注された品目を受領前に作成する

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
契約外メンテナンスまたは契約メンテナンスタイプの作業指示	発注の受領	発注された品目を受領前に作成する
契約	発注の受領	発注された品目を受領前に作成する
研修	発注の受領	発注された品目を受領前に作成する
ケーブル	発注の受領	発注された品目を受領前に作成する

受領された品目もすべて返却されます。

## 図 9.1. 調達サイクル - 受領



## 手順

### 依頼を実行する

この手順は、発注が作成されることにならない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
- 契約をポートフォリオ品目にリンクする

必要条件: 依頼は [ ステータス ] ( seStatus ) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合にのみ実行されます。

- 承認済
- 予約済
- 処理済

依頼を実行するには

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 実行する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント: [ 実行 ] をクリックします。

Webクライアント: [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 実行 ] を選択します。

- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、発注を作成しない品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を作成しない品目を作成する] ページ	
[作成数] 列に作成する品目の数を指定します。	
[終了] をクリックします。	

- 5 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。  
ウィザードの実行後に、データベース内で次の処理が実行されます。

取得オブジェクト	実行される処理
内部メンテナンスタイプの作業指示	作業指示が作成される
契約をポートフォリオ品目にリンクする	契約がポートフォリオ品目にリンクされる

## 発注された品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領する前でも発注済みの品目に対応するレコードを作成することができます。

発注されたすべての製品属性に当てはまります。

これを行うと、これらの品目が発注されたらすぐにこれらの品目に対してビジネスプロセス (作業指示の計画、研修など) を開始することができます。

### 必要条件

発注済みの品目を受領前に作成することを可能にするには、購入レベルの [ステータス] (seStatus) フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 承認済
- 発注済
- サプライヤ側で受諾済
- 処理済

### 品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領前に作成するには

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 発注の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント: [作成] ボタンをクリックします。

Webクライアント: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [作成] を選択します。

- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、納品待ちのポートフォリオ品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[納品待ちのポートフォリオ品目を作成する] ページ	
[作成数] 列に作成する品目の数を指定します。	
[終了] をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

### ポートフォリオ品目の作成に関連する注意事項

受領前に作成されたレコードがポートフォリオ品目である場合、[割当] (seAssignment) フィールドが「使用中」に設定されます。

### 受領品目の作成に関連する注意事項

発注済みの品目の一部のみを作成し、これらの品目が特定の人物に予約されている場合、予約者の従業員ID (IDNo) に従って受領される品目がAssetCenterによって割り当てられます。

#### 注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の [ユーザ] (User) リンクを使用して予約されます。

動作は、発注済みの品目の一部のみを作成するときと同じであり、異なる品目にリンクされます。

#### 注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の [親レコード] (Parent) リンクを使用してリンクされます。

## 発注品目を受領する

### 必要条件

発注済みの品目の作成を可能にするには、購入レベルの [ステータス] (seStatus) フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 発注済
- サプライヤ側で受諾済

## 発注品目を受領する

### 解決策1: 発注詳細画面から

発注の品目を受領するには

- 1 発注を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク）。
- 2 受領する発注の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント： [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、受領ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 受領 ] ページ	
リストの明細ごとに、 [ 受領する数量 ] 列に受領する数量を入力します。	
[ 終了 ] をクリックします。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク）。	

### 解決策2: 受領伝票リストから

発注の品目を受領するには

- 1 受領伝票を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 受領伝票 ] リンク）。
- 2 新規の受領伝票を作成し（ [ 新規作成 ] ボタン）、特に次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ (Supplier)	品目を受領する発注のサプライヤを選択します。

- 3 受領伝票の作成を確定します（Windowsクライアントでは [ 作成 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 4 [ 内容 ] タブを選択します。
- 5 受領する各品目に内容の行を追加し（Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ）、次のフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
受領数 (fQty)	受領する同じモデルの品目の数を入力します。
リファレンス (CatalogRef)	[ 発注明細 ] (POrdLine) リンクにフィルタを適用する場合に受領する品目のカタログリファレンスを入力します。

フィールドまたはリンク	値
発注明細 ( POrdLine )	受領する発注明細を選択します。 完全に受領していない発注明細のみがAssetCenterによって表示されます。

## 受領品目を返却する

受領された品目を返却するには

- 1 返却する品目の受領伝票の詳細画面を表示します。
  - 解決策1: 発注の詳細画面から



**警告:**

この解決策はWindowsクライアントにのみ適用されます。

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
  - 2 返却する品目を含む発注の詳細画面を表示します。
  - 3 [ トラッキング ] タブを選択します。
  - 4 [ 受領 ] の分岐点をクリックします。
  - 5 返却する品目の受領伝票の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。
- 解決策2: 受領伝票のリストから
    - 1 受領伝票を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 受領伝票 ] リンク)。
    - 2 返却する品目の受領伝票の詳細画面を表示します。
- 2 Windowsクライアント: [ 返却 ] をクリックします。  
Webクライアント: [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 返却 ] を選択します。
  - 3 次の表に示す値を返却ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 返却... ] ページ	

フィールドまたはリンク	値
選択	<p>[ 返却を作成する ]:返却を記述する返却伝票を作成します。</p> <p>この伝票は、受領伝票の [ 返却 ] タブに表示されます。</p> <p>[ 受領伝票を返却伝票として使用する ]:返却を記述する「負の」受領伝票を作成します。</p> <p>この伝票は、受領伝票の [ 返却 ] タブと [ 内容 ] タブに表示されます。</p> <p>[ 既存の返却に関連付ける ]:このオプションは、本バージョンのAssetCenterでは使用しないでください。</p>
[ 返却... ] ページ	返却に関連する明細ごとに、返却する品目の数を [ 返却する数量 ] 列に指定します。
返却伝票	このオプションが使用できる場合は、返却伝票を追加する既存の受領伝票を選択します。
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 資産返却 ] ページ	
返却する品目を選択します。	
<b>ヒント:</b>	
	リスト内の情報が返却する品目を識別するために十分でない場合、Windowsクライアントを使用しているときには、リストに列を追加します (リストを右クリックして、ショートカットメニューから [ ユーティリティ / リストの設定 ] を選択します)。
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 終了 ] をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。	

## 実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する

### はじめに

この実用例は、依頼され発注された品目を受領前に事前に作成する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36 ]

- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

## シナリオ

「PC1 - 小林」氏のために「PC1 - HP Compaq」「PC1 - デスクトップ」コンピュータと、コンピュータを接続する内部作業指示を発注します。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと作業指示が作成されます。
- コンピュータが受領されます。

## 作成

### 依頼の作成

- 1 依頼を作成ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成 ] リンク)。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ PC1 - デスクトップ</li> <li>■ PC1 - コンピュータの接続</li> </ul>
[ 追加 ] の右のフィールド	1
[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC7 - コンピュータの購入と接続
依頼者	PC1 - 小林
ユーザ	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( amRequest )	PC7 - REQ001

- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 発注明細「1 PC1 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当 ( blnstantAssign )	はい

- 8 依頼明細の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ OK ] )。
- 9 依頼明細を閉じます ( Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。
- 10 発注明細「1 PC1 - コンピュータの接続 PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
- 11 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当 ( blnstantAssign )	はい
[ 全般 ] タブ	
依頼する品目 ( UsedReqLineAsset )	1 PC1 - デスクトップ

- 12 依頼明細の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ OK ] )。
- 13 依頼明細を閉じます ( Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。
- 14 依頼の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 15 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC7 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ PC7 - REQ001見積の作成 ) ] ページ	

フィールドまたはリンク	値
明細をすべて含める	はい
[次へ]をクリックします。	
[明細を選択する]ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[次へ]をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更する]ページ	
[発注する発注明細のリスト]リスト	PC1 - デスクトップ 11 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[対応するカタログリファレンスのリストの表示] ボタンをクリックします。	
[対応するカタログリファレンスのリスト] リス	ト
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	ト 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン ) 。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク ) 。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
- 5 見積に番号を割り当て、この発注用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済
番号 ( PONumber )	PC7 - EST001

- 6 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ) 。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積PC7 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [発行] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン ) 。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク ) 。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 納品待ちのポートフォリオ品目を作成する

- 1 発注PC7 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [作成] ボタンをクリックします。

Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[作成]を選択します。

- 3 以下の表に示す値を納品待ちのポートフォリオ品目を作成するウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[納品待ちのポートフォリオ品目を作成する]ページ	
処理する発注明細	明細「PC1-デスクトップ PC1-デスクトップ 10 1」を選択し、[作成数]列で値を「1」に設定します。
[終了]をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは[OK]ボタン、Webクライアントでは[前へ]リンク)。	

- 4 納品待ちのポートフォリオ品目を作成する [献 104]に書かれている残りの記述は、Windowsクライアントにのみ適用されます。
- 5 [トラッキング]タブを表示します。

 **注意:**

[トラッキング]タブは、Windowsクライアントにあります。Webクライアントにはありません。

- 6 [資産]の分岐点をクリックします。
- 7 資産「PC1-HP Compaq PC1-デスクトップ (XXXXX) 注文中」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[ポートフォリオ]タブ、[全般]サブタブ	
割当 (seAssignment)	納品待ち

- 8 資産の詳細画面を閉じます。
- 9 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 内部作業指示の作成

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの[調達/依頼]リンク)。
- 2 依頼PC7-RFP001の詳細画面を表示します。
- 3 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	承認済

- これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- Windowsクライアント : [ 実行 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 実行 ] を選択します。
- 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 発注を作成しない品目を作成する ] ページ 処理する依頼明細	明細「PC1 - コンピュータの接続 PC1 - コンピュータの接続11」を選択し、[ 作成数 ] 列の値を「1」に設定します。

ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。  
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。

- [ トラッキング ] タブを表示します。



**注意:**

[ トラッキング ] タブは、Windowsクライアントにあります。Webクライアントにはありません。

- [ 作業指示 ] の分岐点をクリックします。
- 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 ( dtNotif )	作業指示の作成の日付と時間
資産 ( Asset )	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ (xxxxxx)
依頼者 ( Requester )	PC1 - 小林

- 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 依頼の詳細画面を閉じます。

### 発注の受領

- 発注を表示します ( ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
- 発注「PC7 - EST001」の詳細画面を表示します。
- Windowsクライアント : [ 受領 ] をクリックします。

Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[受領]を選択します。

- 4 ウィザードの実行を確定します（[終了]ボタン）。
- 5 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK]ボタン、Webクライアントでは[前へ]リンク）。
- 6 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
- 7 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
[全般]タブ	
割当 (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
使用開始日 (dAssignment)	受領日
単価 (mAvgPrice)	900
[メンテナンス]タブ	
	内部メンテナンスPC1-コンピュータの接続,,()0h 通知済 0,00

- 8 すべてのウィンドウを閉じます。



# 10 請求書

## 基本概念

請求書の登録には、いくつかの方法を利用できます。  
この章では、各方法について詳細を説明します。

### 図 10.1. 調達サイクル - 請求書



## 手順

### 必要条件

受領された品目に対してのみ、請求書を作成することができます。

## 受領伝票から請求書を作成する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

- 1 受領伝票を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 受領伝票 ] リンク）。
- 2 請求された品目に対応する受領伝票の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント： [ 請求書 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 請求書 ] を選択します。
- 4 請求書の作成ウィザードにすべて入力して実行します。
- 5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。
- 6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。

## 新規の請求書を直接作成する

この方法を使用する場合、請求書が受領明細に対して整合性が取られることはありません。

- 1 請求書を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / サプライヤの請求書 ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 新しい空白の請求書が表示されます。
- 4 少なくとも [ サプライヤ ]（Supplier）フィールドに入力します。
- 5 レコードの作成を確定します（Windowsクライアントでは [ 作成 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 6 [ 明細 ] タブを選択します。
- 7 請求明細を追加します（Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ）。

## 受領伝票へのリンクを維持しながら請求書に明細を追加する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

- 1 受領伝票を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 受領伝票 ] リンク）。
- 2 既存の請求書に追加する品目に対応する受領伝票の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント： [ 請求書 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 請求書 ] を選択します。
- 4 請求書の作成ウィザードにすべて入力して実行します。  
特に、 [ 請求書の選択 ] フィールドと [ 請求明細の結合 ] フィールドを入力します。
- 5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。

6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。



# 11 コスト

## 基本概念

調達サイクルを使用すると、取得コストにリンクされた情報を管理することができます。

取得経費明細は、次の品目の受領時に作成されます。

- 資産が作成されることになるポートフォリオ品目
- 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示
- 契約
- 研修会

資産に対して経費明細を作成する方法は、資産の取得方法によって決まります。

資産の取得方法	経費明細の作成
購入	資産の受領時に即座に自動で作成される
レンタル、リース、またはローン	AssetCenter Serverによって作成される

次の表は、入力する情報とその情報の処理方法を説明します。

表 11.1. 経費 - 資産

提供情報	取得が購入である場合の結果		取得がレンタル、リース、またはローンである場合の結果
	ポートフォリオ品目または資産レベル	経費明細レベル	ポートフォリオ品目または資産レベル
モデル			
会計コード ( AcctCode )	会計コード ( AcctCode )		会計コード ( AcctCode )
同じ名前のリンクが発注レベルで空の場合は、コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )
タイプ ( DeprScheme )	減価償却方法 ( DeprScheme )		
依頼明細			
ファイナンス契約 ( AcquContract )	スケジュール ( AcquContract )		
コストセンタ ( CostCenter )	コストセンタ ( CostCenter )	コストセンタ ( CostCenter )	コストセンタ ( CostCenter )
ファイナンス契約			
取得方法 ( seAcquMethod )	取得方法 ( seAcquMethod )		
発注明細			
単価 ( mUnitCost ) と 割引 ( pDiscount )	割引 ( pDiscount ) 購入価格 ( mPrice ) 市場価格 ( mMarketVal ) 減価償却基準 ( mDeprBasis ) 単価 ( mAvgPrice )	借方 ( mDebit )	割引 ( pDiscount ) 市場価格 ( mMarketVal )
税額 ( mTaxValue )	税金 ( mTax )	借方税額 ( mTaxDebit )	
コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )
サプライヤ ( Supplier )	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貸主 ( Lessor )</li> <li>■ サプライヤ ( Supplier )</li> </ul>		

表 11.2. 経費 - 研修

提供情報	処理	
	研修レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )
依頼明細		
コストセンタ ( CostCenter )		
発注		
サプライヤ ( Supplier )		
発注明細		
単価 ( mUnitCost ) と割引 ( pDiscount )	コスト ( mCost )	借方 ( mDebit )
税額 ( mTaxValue )	税金 ( mTax )	借方税額 ( mTaxDebit )

表 11.3. 経費 - 契約

提供情報	処理	
	契約レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )
ブランド ( Brand )	会社 ( Company )	
依頼明細		
コストセンタ ( CostCenter )		
発注		
発注明細		
単価 ( mUnitCost ) と割引 ( pDiscount )	初回金 ( mIntPay )	借方 ( mDebit )
税額 ( mTaxValue )	税金 ( mTax )	借方税額 ( mTaxDebit )

表 11.4. 経費 - 契約外メンテナンスと契約メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理	
	作業指示レベル	経費明細レベル
モデル		
コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )	コストカテゴリ ( CostCategory )
依頼明細		
コストセンタ ( CostCenter )		

提供情報	処理	
	作業指示レベル	経費明細レベル
発注		
サプライヤ (Supplier)	会社 (Supplier)	
発注明細		
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	見積額 (mEstimCost)	借方 (mDebit)
	初期経費 (mCost)	
税額 (mTaxValue)	税金 (mTax)	借方税額 (mTaxDebit)

表 11.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理
	作業指示レベル
モデル	
コストカテゴリ (CostCategory)	コストカテゴリ (CostCategory)
依頼明細	
コストセンタ (CostCenter)	
発注明細	
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	
税額 (mTaxValue)	

## 実用例15 - コスト

### はじめに

この実用例は、取得コストを処理する方法と経費明細を作成する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

### シナリオ

- 次の品目を取得する必要があります。
  - 資産PC1 - デスクトップ
  - 契約外メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」

- 内部メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータの接続」
- 契約「PC1 - 保証」
- 研修「PC1 - コンピュータ基礎研修」
- 「PC1 - 同軸ケーブル」ケーブル
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」に送るために発注に変換されます。
- 発注された品目が受領されます。

## 作成

### 依頼の作成

- 1 依頼を作成ウィザードを開始します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成 ] リンク）。
- 2 依頼を作成 ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
[ 依頼を作成 ] ページ		
モデル	選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ PC1 - デスクトップ</li> <li>■ PC1 - コンピュータのインストール</li> <li>■ PC1 - コンピュータの接続</li> <li>■ PC1 - 保証</li> <li>■ PC1 - コンピュータ基礎研修</li> <li>■ PC1 - 同軸ケーブル</li> </ul>	モデルが依頼明細に伝達されます。
[ 追加 ] の右のフィールド	1	数量が依頼明細に伝達されます。
[ 追加 ] をクリックします。		
[ 次へ ] をクリックします。		
[ 新規依頼 ] ページ		
目的	PC15 - コスト管理	
コストセンタ	PC1 - 本社	コストセンタは、依頼と依頼明細の [ コストセンタ ] フィールド ( CostCenter ) に伝達されます。

- 3 ウィザードの実行を確定します（ [ 終了 ] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク）。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 6 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	承認済
番号 ( amRequest )	PC15 - REQ001

- 7 依頼の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 8 特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
[ 配賦 ] タブ		
コストセンタ ( CostCenter )	PC1 - 本社	このリンクは、追加する依頼明細に対してデフォルト値として使用します。 これは発注に伝達されません。

- 9 [ 明細 ] タブを選択します。
- 10 依頼明細「1 PC1 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。  
特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[ 全般 ] タブ		
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ	受領時に、モデルの [ コストカテゴリ ] ( CostCategory ) フィールド、 [ タイプ ] ( DeprScheme ) フィールド、 [ 会計コード ] ( AcctCode ) フィールドが受領品目に伝達されます。モデルの [ コストカテゴリ ] ( CostCategory ) リンクが経費明細に伝達されます。
[ 購入 ] タブ		
税率 ( pTaxRate )	7.75%	このフィールドはモデルから取得されます。 このフィールドは、発注明細に伝達されません。
税額 ( mTaxValue )	77.50	このフィールドは、 [ 単価 ] ( mUnitCost ) フィールドと [ 税率 ] ( pTaxRate ) フィールドに基づいて計算されます。 このフィールドは、発注明細に伝達されません。
[ 配賦 ] タブ		

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 本社	このフィールドは、ウィザードによって入力されます。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	このフィールドはモデルから取得されます。

- 11 依頼明細の詳細画面を閉じます。
- 12 依頼の詳細画面を表示したままにします。

### 依頼から発注を作成する

- 1 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発注 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発注 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ PC15 - REQ001発注の作成 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	

### 注意:

通常、モデル「PC1-コンピュータの接続」に対応する依頼明細は選択されません。これは、内部作業指示であり、発注を作成する必要がありません。

カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
カタログリファレンスがデフォルトでモデルに関連付けられているため、ページをそのままの状態で使用できるはずです。	

- 4 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。
- 5 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。
- 6 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
ステータス ( seStatus )	承認済	
番号 ( amRequest )	PC15 - PO001	

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[ファイナンス] タブ		
取得方法 ( seAcquMethod )	購入	購入の取得方法は、受領品目に伝達されま す。

- 8 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 9 [ 明細 ] タブを選択します。
- 10 発注明細「1 PC2 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示し  
ます。  
特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[ 購入 ] タブ		
単価 ( mUnitCost )	1000	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
割引 ( pDiscount )	10%	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
税率 ( pTaxRate )	7.75%	このフィールドは依頼明細から入力されました。
税額 ( mTaxValue )	69.75	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
[ 配賦 ] タブ		
コストカテゴリ ( CostCategory )	PC1 - コンピュータ	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。
コストセンタ ( CostCenter )	PC1 - 本社	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。

- 11 発注明細の詳細画面を閉じます。
- 12 発注の詳細画面を表示したままにします。

### 発注する

- 1 発注PC15 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。

Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[発行]を選択します。

- 3 ウィザードの実行を確定します（[終了]ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK]ボタン、Webクライアントでは[前へ]リンク）。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

### 発注の受領

- 1 発注PC15 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント：[受領]をクリックします。  
Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[受領]を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（[終了]ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK]ボタン、Webクライアントでは[前へ]リンク）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。  
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	発生元
<b>[全般]タブ</b>		
単価 (mAvgPrice)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 本社	依頼明細: コストセンタ (CostCenter)
<b>[取得]タブ、[価格と条件]サブタブ</b>		
購入価格 (mPrice)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	69.75	発注明細: 税額 (mTaxValue)
割引 (pDiscount)	10%	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
<b>[取得]タブ、[調達]サブタブ</b>		
取得方法 (seAcquMethod)	購入	発注: 取得方法 (seAcquMethod)
会計コード (AcctCode)	PC1 - CC001	モデル: 会計コード (AcctCode)
サプライヤ (Supplier)	PC1 - MySupplier	発注: サプライヤ (Supplier)
市場価格 (mMarketVal)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
<b>[固定資産]タブ</b>		
減価償却方法 (DeprScheme)	PC1 - 定額法	モデル: タイプ (DeprScheme)
減価償却基準 (mDeprBasis)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)

- 6 [コスト]タブに移動します。

- 7 経費明細の詳細画面を表示します。
- 8 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
借方 (mDebit)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	69.75	発注明細: 税額 (mTaxValue)
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)

9



**警告:**

発注の受領 [ 献 121 ] の部の残りはWindowsクライアントにのみ適用されます。

経費明細の詳細画面を閉じます。

- 10 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます。
- 11 発注の詳細画面を閉じます。
- 12 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 13 [トラッキング] タブを選択します。
- 14 [ケーブル] の分岐点をクリックします。
- 15 ケーブル「PC1 - 同軸ケーブル」の詳細画面を表示します。  
取得経費にリンクされた情報が使用できないことに気が付きます。
- 16 ケーブルの詳細画面を閉じます。
- 17 [作業指示] の分岐点をクリックします。
- 18 作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」の詳細画面を表示します。
- 19 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[取得] タブ		
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)
見積額 (mEstimCost)	360	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
初期経費 (mCost)		
税金 (mTax)	27.90	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 20 [コスト] タブを選択します。
- 21 経費明細をダブルクリックして、経費明細の詳細画面を表示します。
- 22 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		

フィールドまたはリンク	値	発生元
借方 (mDebit)	360	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	27.90	発注明細: 税額 (mTaxValue)
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)

- 23 経費明細の詳細画面を閉じます。
- 24 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 25 [ 研修 ] タブをクリックします。
- 26 「PC1 - コンピュータ基礎研修」の詳細画面を表示します。
- 27 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[ 全般 ] タブ		
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 研修	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)
コスト (mCost)	190	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	37.24	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 28 研修の詳細画面を閉じます。
- 29 [ 契約 ] の分岐点をクリックします。
- 30 契約「PC1 - 保証」の詳細画面を表示します。
- 31 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[ 全般 ] タブ		
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 契約	モデル: コストカテゴリ (CostCategory)
初回金 (mIntPay)	50	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	3.88	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 32 [ コスト ] タブに移動します。
- 33 経費明細の詳細画面を表示します (  ボタン )。
- 34 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[ 全般 ] タブ		
借方 (mDebit)	50	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	3.88	発注明細: 税額 (mTaxValue)

フィールドまたはリンク	値	発生元
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 契約	モデル:コストカテゴリ (CostCategory)

- 35 経費明細の詳細画面を閉じます。
- 36 契約の詳細画面を閉じます。
- 37 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 内部作業指示の作成

- 1 依頼PC15 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント：[実行]をクリックします。  
Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[実行]を選択します。
- 3 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を作成しない品目を作成する]ページ	
処理する依頼明細	明細「PC1 - コンピュータの接続 PC1 - コンピュータの接続 11」が選択され、[作成数]列が「1」に設定されています。
ウィザードの実行を確定します（[終了]ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK]ボタン、Webクライアントでは[前へ]リンク）。	

4



**警告:**

内部作業指示の作成 [ 献 124]の残りの記述はWindowsクライアントにのみ適用されます。

[トラッキング]タブを表示します。

- 5 [作業指示]の分岐点をクリックします。
- 6 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示します。
- 7 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[取得]タブ		
コストカテゴリ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル:コストカテゴリ (CostCategory)

フィールドまたはリンク	値	発生元
見積額 ( mEstimCost )	未入力	
初期経費 ( mCost )		
税金 ( mTax )		

- 8 [コスト] タブに移動します。
- 9 経費明細が作成されませんでした。
- 10 すべてのウィンドウを閉じます。



---

## II 特別な例



# 12 複合製品

---

## 基本概念

### 複合製品とは

複合製品とは、1つのサプライヤで入手可能なグループ化された製品です。

### 複合製品のタイプ

複合製品には2つのタイプがあります。

- 受領時に主製品がレコードを作成することになる複合製品。  
この主製品とは、主製品を構成している製品群の親製品です。  
例:外付けCDライターがリンクされている「HPCompaqデスクトップ」という名前の複合製品。  
このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、[作成] (seBasis) フィールドが「なし」以外の値に設定された属性にリンクされています。
- 受領時に主製品がレコードを作成することにならない複合製品。  
この主製品は、主製品を構成している製品群の入れ物として機能します。  
例:ラップトップとプリンタで構成されている「セールスエンジニア用の設定」という名前の複合製品。

このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、[作成] (seBasis) フィールドが「なし」に設定された属性にリンクされています。

---

## 実用例8a - 複合製品

### はじめに

この実用例は、受領時に主製品がレコードを作成することになる複合製品を作成する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

### シナリオ

外付けCDライター「PC1 - HP Compaq外付けCDライター」がリンクされているコンピュータ「PC1 - HP Compaq デスクトップ」を発注します。

サプライヤ「PC1-MySupplier」は、この製品について特別な条件を提示していません。

### 作成

#### 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / 製品] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - デスクトップと外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ

フィールドまたはリンク	値
説明 ( Description )	PC8-デスクトップに関連付けられた外付けCDライター
ブランド ( Brand )	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル ( Model )	PC1 - 外付けCDライター
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード ( Parent )	PC8 - デスクトップと外付けCDライター
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション ( bOption )	いいえ

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### カタログリファレンスの作成

- 1 カatalogリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / カatalogリファレンス] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ ( Catalog )	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 ( CatProduct )	PC8 - デスクトップと外付けCDライター
説明 ( Description )	PC8 - デスクトップと外付けCDライター
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 ( fPrice )	1000
割引 ( pDiscount )	10%
タブの上のエリア	
リファレンス ( Ref )	PC8 - デスクトップと外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ ( Catalog )	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 ( CatProduct )	PC8-デスクトップに関連付けられた外付けCDライター
説明 ( Description )	PC8-デスクトップに関連付けられた外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
有効期間の開始日 ( dtStartValidity )	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 ( dtEndValidity )	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 ( fPrice )	100
割引 ( pDiscount )	30%
タブの上のエリア	
リファレンス ( Ref )	PC8- デスクトップに関連付けられた外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

### 依頼を作成する

- 1 [依頼を作成...]ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼を作成...] リンク)。
- 2 [依頼を作成]ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
ブランド	PC1 - HP Compaq
[ フィルタを適用 ] ボタンをクリックします。	
モデル	PC1 - デスクトップを選択します。
[ 追加 ] の右のフィールド	1
[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC8 - コンピュータと外付けCDライター
[ 終了 ] をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。	

- 3 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 [ 明細 ] タブを選択します。
- 5 このタブの内容を調べます。
- 6 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( ReqRequest )	PC8 - REQ001

- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC8 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 見積 ] ボタンをクリックします。

Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[見積]を選択します。

- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積の作成 PC8 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ]をクリックします。	
[明細を選択する] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[次へ]をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更する] ページ	
発注する発注明細のリスト	PC1 - デスクトップ 11 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[対応するカタログリファレンスのリストの表示] ボタンをクリックします。	
対応するカタログリファレンスのリスト	PC8 - デスクトップと外付けCDライター (PC1 - MySupplier) PC8 - デスクトップと外付けCDライター 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ([終了] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[全般] タブ	
元の依頼 ( Request )	PC8 - RFP001 (PC8 - コンピュータと外付けCDライター)
[明細] タブ	
	2つの発注明細がウィザード見積の作成によって作成されます。1つは主製品 (「PC8 - デスクトップと外付けCDライター」) 用で、もう1つがその従属製品 (「PC8 - デスクトップに関連付けられた外付けCDライター」) 用です。

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC8 - EST001

- これらの変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] )。
- 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の書式内の見積を発行する

- 見積PC8 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- Windowsクライアント: [発行] ボタンをクリックします。  
Webクライアント: 状況依存アクションドロップダウンリストから [発行] ボタンをクリックします。
- 発注するウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注で欠けている依頼明細を作成する] ページ	
依頼明細を作成し、既存の依頼に関連付ける	はい
[次へ] をクリックします。	
[発注] ページ	
依頼	依頼「PC8 - REQ001」を選択します。
[終了] をクリックします。	

- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。
- 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発注済
[全般] タブ	
発効日 (dtSent)	現在の日付

6



**警告:**

発注の書式内の見積を発行する [献 134]の部の残りはWindowsクライアントにのみ適用されます。

[トラッキング] タブを選択します。

- [関連する購入依頼] の分岐点をクリックします。
- 明細「PC8 - REQ001 (PC8 - コンピュータと外付けCDライター)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。

- 9 元の依頼の詳細画面が表示されます。
- 10 [ 明細 ] タブを選択します。
- 11 明細「1 PC8 - デスクトップに関連付けられた外付けCDライター PC1 - 外付けCDライター」の詳細画面を表示します。
- 12 次の表に示すフィールドとリンクを入力することによって、依頼明細をその他の依頼明細にリンクします。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
親レコード ( Parent )	1 PC1 - デスクトップ

- 13 依頼明細の変更を確定します ( [ 変更 ] ボタン)。
- 14 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。
- 15 依頼の詳細画面を閉じます ( [ 閉じる ] ボタン)。
- 16 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の受領

- 1 見積PC8 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント : [ 受領 ] をクリックします。
- 3 Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 4 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。
- 5 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。
- 6 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。  
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	元の依頼で選択されたモデル ( PC1 - デスクトップ ) が表示されます。
[ 全般 ] タブ	
単価 ( mAvgPrice )	発注明細から計算された税抜き価格 ( \$900 ) が表示されます。
[ コスト ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
	ポータフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。
フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデルが表示されます (「1 - 外付けCDライター」)。
[全般] タブ	
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜き価格 (\$70) が表示されます。
親レコード (Parent)	1 HP Compaq PC1 - デスクトップ
[コスト] タブ	
	ポータフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。

7 すべてのウィンドウを閉じます。

## 実用例8b - 複合製品

### はじめに

この実用例の目的は、主製品がそれを構成している製品群の入れ物として使用される複合製品を作成し使用方法を示すことです。

### 必要条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36] を実行している必要があります。

### シナリオ

シナリオは実用例8aと同じです。  
ただし、製品の構成は異なります。

### 作成

#### 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します (ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク)。

- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - セールスエンジニア用の設定

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - 設定用デスクトップ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップ
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション (bOption)	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - 設定用外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
親レコード (Parent)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
前のフィールドでリストから選択しないで、値を入力した場合は、入力値を確認するかカーソルを別のフィールドに動かして、次のフィールドを表示させます。	
オプション (bOption)	いいえ

- すべてのウィンドウを閉じます。

#### カタログリファレンスの作成

- カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログリファレンス ] リンク)。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
製品 (CatProduct)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
説明 (Description)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	1100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC8 - セールスエンジニア用設定 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - 設定用デスクトップ
説明 (Description)	PC8 - 設定用デスクトップ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	1000
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC8 - 設定用デスクトップ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - 設定用外付けCDライター
説明 (Description)	PC8 - 設定用外付けCDライター
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付よりも前の日付を入力します
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付よりも後の日付を入力します
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC8 - 設定用外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

### 依頼を作成する

- 1 [依頼を作成] ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼を作成] リンク)。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[依頼を作成] ページ	

フィールドまたはリンク	値
モデル	「PC1 - セールスエンジニア用の設定」を選択します。
[追加]の右のフィールド	1
[追加]をクリックします。	
[次へ]をクリックします。	
[新規依頼]ページ	
目的	PC8 - セールスエンジニア用の設定
[終了]をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 3 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 [明細] タブを選択します。
- 5 ウィザードによって作成された明細の詳細画面を確認します。
- 6 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC8 - REQ002

- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC8 - REQ002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 [見積] ボタンをクリックします。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[Generate a PC8 - REQ002 estimate (PC8 - REQ002見積を作成)] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ]をクリックします。	
[明細を選択する] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[次へ]をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更する] ページ	
発注する発注明細のリスト	「PC1 - セールスエンジニア用の設定 1 PC8 - セールスエンジニア用の設定 (PC1 - MySupplier PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100USD10%)」を選択します。
[対応するカタログリファレンスのリストの表示] ボタンをクリックします。	
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC8 - セールスエンジニア用の設定 (PC1 - MySupplier PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100 USD 10% 0 PC1 - MySupplier)」を選択します。
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	

フィールドまたはリンク	値
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。  
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	
元の依頼明細 ( Request )	PC8-REQ002 ( PC8-セールスエンジニア用の設定 )
[ 明細 ] タブ	
	3つの見積明細がウィザード見積の作成によって作成されます。1つは主製品 ( 「 PC8-セールスエンジニア用の設定 」 ) 用で、残り2つがその従属製品 ( 「 PC8-設定用デスクトップ 」 ) 用と「 PC8-設定用外付けCDライター 」 ) 用です。

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済
番号 ( PONumber )	PC8-EST002

- 6 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の書式内の見積を発行する

- 1 見積PC8-EST002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 3 発注ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 発注で欠けている依頼明細を作成する ] ページ	
依頼を作成し既存の依頼に関連付ける	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 発注 ] ページ	

フィールドまたはリンク	値
依頼	依頼「PC8-REQ002」を選択します。
[終了]をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 4 発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発注済
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付

- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の受領

- 1 発注PC8-EST002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [受領] をクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。  
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデル (PC1-デスクトップ) が表示されます。
[全般] タブ	
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜き価格 (\$900) が表示されます。
[コスト] タブ	
	発注明細から計算された税抜き価格 (\$900) が表示されます。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデルが表示されます (「1-外付けCDライター」)。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜き価格 (\$90) が表示されます。
[コスト] タブ	
	発注明細から計算された税抜き価格 (\$90) が表示されます。

 **注意:**

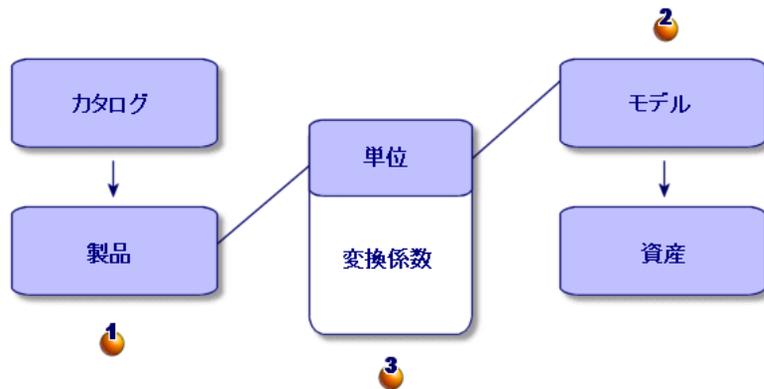
リファレンス「PC8 - セールスエンジニア用の設定」に対して、ポートフォリオ品目は作成されません。これは意図的な仕様であり、このリファレンスにリンクされている製品が、レコードが作成されることがない属性を持つモデルにリンクされていることがその理由です。

- すべてのウィンドウを閉じます。

# 13 計量単位

## 基本概念

図 13.1. 計量単位



計量単位は、製品レベル (1) とモデルレベル (2) で定義されます。  
これらの計量単位は、製品レベルとモデルレベルで別にすることができます。

受領品目の作成時に、製品の計量単位とモデルの計量単位の関係がAssetCenterによって確認する必要があります (👉)。  
この割合は、計量単位間の変換率を使用して定義されます。

---

## 実用例9 - 計量単位

### はじめに

この実用例は、製品とそれらの関連モデルの間で異なる計量単位を適切に使用する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

### シナリオ

100リットルの液体を発注します。液体は、製品レベルではヘクトリットルで計量され、モデルレベルではリットルで計量されます。

### 作成

#### 単位の作成

- 1 単位を表示します (ナビゲーションバーの [ 管理 / システム / 単位 ] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - リットル
次元 (Dimension)	PC9 - 体積

#### 注意:

「値 'xxx' をカスタムリストデータ 'yyy' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[ はい ] を選択します。

フィールドまたはリンク	値
記号 (Symbol)	PC9 - l
	注意: 「値 'xxx' をカスタムリストデータ 'yyy' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[ はい ] を選択します。
変換係数 (fConv)	1

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - ヘクトリットル
次元 (Dimension)	PC9 - 体積
	注意: 「値 'xxx' をカスタムリストデータ 'yyy' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[ はい ] を選択します。
記号 (Symbol)	PC9 - hl
	注意: 「値 'xxx' をカスタムリストデータ 'yyy' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[ はい ] を選択します。
変換係数 (fConv)	100

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 属性の作成

- 1 属性を表示します (ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 属性 ] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - 液体
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

### 3 すべてのウィンドウを閉じます。

## モデルの作成

- 1 モデルを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - ガソリン
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC9 - 液体
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
使用単位 (UseUnit)	PC9 - リットル
不分割数量 (fUseQty)	1

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

## 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [カタログ / 製品] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC9 - ガソリン
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
[取得] タブ	
購入単位 (PurchUnit)	PC9 - ヘクトリットル
変換係数 (fUnitConv)	100

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

## カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの [カタログ / カタログリファレンス] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC9 - ガソリン

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC9 - ガソリン
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	5%
最低発注量 (fMinQty)	1
タブの上のエリア	
リファレンス (Ref)	PC9 - ガソリン (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 [依頼を作成]ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼を作成] リンク)。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[依頼を作成] ページ	
モデル	PC9 - ガソリン
[追加] の右のフィールド	100
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC9 - ガソリン
ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC9 - ガソリン
ステータス (seStatus)	準備中
[明細] タブ	
	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「PC9-I」の「100」であることがわかります。

- 4 これが開いている場合、依頼明細の詳細画面を閉じますが、依頼の詳細画面は表示したままにします。
- 5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC9 - REQ001

- 6 依頼の変更を確定します ([ 変更 ] ボタン)。
- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC9 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント: [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント: [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 見積の作成PC9 - REQ001 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずですが、	
以下の表は、「PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン ( PC1 - MySupplier ) PC9 - ガソリン 100 USD 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します ([ 終了 ] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。  
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC9 - REQ001 ( PC9 - ガソリン )
[ 明細 ] タブ	
	ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC9 - REF001」に関連付けられた依頼明細「PC9 - REQ001」に対応する発注明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済
番号 ( PONumber )	PC9 - EST001

- 6 これらの変更を確定します ( [ 変更 ] ボタン )。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積から発注する

- 1 見積PC9 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント : [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	発注済
[ 全般 ] タブ	
発行日 ( dtSent )	現在の日付
[ 明細 ] タブ	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「PC9 - hl」の「1」であることがわかります。 カタログリファレンスに関連付けられた製品に対応して、単位の変換が適切に行われています。

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の受領

- 1 発注PC9 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント : [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。

このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデルが表示されます (PC9 - ガソリン)。
[全般] タブ	
数量 (fQty)	100 PC9 - I 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目に関連付けられたモデルの単位で数量が表示されます。
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜き価格 (\$1) が表示されます。

6 すべてのウィンドウを閉じます。

# 14 パッケージング

## 基本概念

AssetCenterでは、製品のパッケージングを記述して、これを調達サイクルで考慮することができます。

パッケージングは、製品の数量を表示するかどうかによって別々に処理されます。

- 品目数で（単位なし）

例: 製品「インクカートリッジ」は、1ロット6カートリッジ入りのロットで入手可能です。

12カートリッジを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	12カートリッジを依頼します。
見積と発注	1ロット6カートリッジ入りのカートリッジを2ロット発注します。

段階	手順
受領	<p>配達完了すると、6カートリッジ入りのロットを2ロット受領することになります。</p> <p>AssetCenterによって作成されるものを以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 属性の詳細画面で [ 管理条件 ] ( seMgtConstraint ) フィールドが「資産タグ」に設定されている場合: 6単位の2ポートフォリオ品目</li> <li>■ 属性の詳細画面で [ 管理条件 ] ( seMgtConstraint ) フィールドが「固定資産タグ」に設定されている場合: 12個の個別のポートフォリオ品目</li> </ul>

- 単位で  
例: 製品「ガソリン」は、1ロットに5リットル入り缶が20缶含まれるロット単位で入手可能です。  
モデル「ガソリン」と製品「ガソリン」が「リットル」で表示されるとします。  
200リットルを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	200リットルを依頼します。
見積と発注	1缶5リットル入りの缶を40缶発注します。
受領	<p>配達完了すると、5リットル入りの缶を40缶受領することになります。</p> <p>AssetCenterによって、200リットルのポートフォリオ品目1つが作成されます。</p>

## 手順

製品のパッケージング条件を定義するには

- 1 製品を作成します ( ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク ) 。
- 2 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	コメント
[ 取得 ] タブ	
パッケージ ( blsPackaged )	
数量 ( ISetQty )	

フィールドまたはリンク	コメント
内容量 (fPkgQty)	このフィールドは、[発注] (PurchUnit) フィールドが入力されている場合に表示されます。

## 実用例10a - パッケージング

### はじめに

この実用例は、計量単位が製品に関連付けられていない場合に製品パッケージングを管理する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36] を実行している必要があります。

### シナリオ

12カートリッジを依頼し、6カートリッジ入りのロットを2ロット発注します。

### 作成

#### 属性の作成

- 1 属性を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 属性] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC10 - 消耗品
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### モデルの作成

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。

- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC10 - インクカートリッジ
属性 (Nature)	PC10 - 消耗品
[全般] タブ	
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい

- すべてのウィンドウを閉じます。

### 製品の作成

- カタログ製品を表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / 製品] リンク)。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC10 - インクカートリッジ
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC10 - インクカートリッジ
[取得] タブ	
パッケージ (blsPackaged)	はい
数量 (lSetQty)	6

- すべてのウィンドウを閉じます。

### カタログリファレンスの作成

- カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / カタログリファレンス] リンク)。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC10 - インクカートリッジ
説明 (Description)	PC10 - インクカートリッジ
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のエリア	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC10- インクカートリッジ (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 依頼を作成ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成 ] リンク)。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
モデル	PC10- インクカートリッジ
[ 追加 ] の右のフィールド	12
[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC10- インクカートリッジ
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC10- インクカートリッジ
ステータス ( seStatus )	準備中
[ 明細 ] タブ	モデル「PC10- インクカートリッジ」に対応する依頼明細 この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した量が「12」であることがわかります。

- 4 依頼の詳細画面で、次の表に示すフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( amRequest )	PC10- REQ001

- 5 依頼の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

## 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC10 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 見積の作成PC10 - REQ001 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサブライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。	
以下の表は、「PC10 - インクカートリッジ 122 PC10 - インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。  
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	
元の依頼明細 ( Request )	PC10 - REQ001 ( PC10 - インクカートリッジ )
[ 明細 ] タブ	
	ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC10 - インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) 」に関連付けられた依頼明細「PC10 - REQ001」に対応する見積明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC10 - EST001

- これらの変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積から発注する

- 見積PC10 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。
- 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus ) [ 全般 ] タブ	発注済
発行日 ( dtSent ) [ 明細 ] タブ	現在の日付
	モデルに対応する発注明細PC10-インクカートリッジ この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が6カートリッジの「2」ロットになっていることがわかります。 依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。

- 発注の詳細画面を表示したままにします。

#### 発注の受領

- 発注PC10 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- Windowsクライアント： [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。

- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。  
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	元の依頼で選択されたモデルが表示されます ( PC10 - インクカートリッジ )。
[ 全般 ] タブ	
数量 ( fQty )	12
	<b>注意:</b> 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性に従って数量が表示されます。
単価 ( mAvgPrice )	発注明細から計算された税抜き価格 ( \$15.83 ) が表示されます。

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。

---

## 実用例10b - パッケージング

### はじめに

この実用例は、計量単位が製品に関連付けられるときに製品パッケージングを管理する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36 ]
- 実用例9 - 計量単位 [ 献 144 ]
- 実用例10a - パッケージング [ 献 153 ]

### シナリオ

ガソリン400リットルを依頼し、5リットル缶入りガソリンが20缶で1ロットのものを4ロット発注します。

## 作成

### 製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / 製品 ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
[ 全般 ] タブ	
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
[ 取得 ] タブ	
購入単位 (PurchUnit)	PC9 - リットル
変換係数 (fConv)	1
パッケージ (blsPackaged)	はい
数量 (ISetQty)	20
内容量 (fPkgQty)	5

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

### カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの [ カタログ / カタログリファレンス ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[ 全般 ] タブ	
製品 (CatProduct)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
説明 (Description)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
価格 (fPrice)	1
	<b>ヒント:</b> 製品の計量単位ごとの価格を指定する必要があります（ [ 購入単位 ] (PurchUnit) フィールド）。ロットごとの価格ではありません。
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のエリア	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 [依頼を作成] ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼を作成] リンク)。
- 2 [依頼を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[依頼を作成] ページ	
モデル	PC9 - ガソリン
[追加] の右のフィールド	400
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク )。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。  
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
ステータス ( seStatus )	準備中
[明細] タブ	
	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した数量が「PC9 - I」の「400」であることがわかります。

- 4 依頼の詳細画面で、次の表に示すフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( amRequest )	PC10 - REQ002

- 5 依頼の変更を確定します ( [変更] ボタン )。

- 6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC10 - REQ002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 見積の作成PC10 - REQ002 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
依頼明細のリスト	「PC9 - ガソリン 400 4 PC9 - ガソリン ( PC1 - MySupplier ) PC9 - ガソリン 1 USD 5%」を選択します。
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC10 - 5リットル缶入りガソリン ( PC1 - MySupplier ) PC10 - 5リットル缶入りガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - リットル PC1 - MySupplier」を選択します。
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。  
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	
元の依頼明細 ( Request )	PC10 - REQ002 ( PC10 - 5リットル入り缶のガソリン )
[ 明細 ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
	<p>ウィザード見積の作成を使用してカタログリファレンス「PC10-5リットル缶入りガソリン（PC1-MySupplier）」に関連付けられた依頼明細「PC10-REQ002」に対応する見積明細</p> <p>この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が5リットル缶入り20缶で1ロットの「4」ロットになっていることがわかります。</p> <p>依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。</p>

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC10 - EST002

- 6 これらの変更を確定します（Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積から発注する

- 1 見積PC10 - EST002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [ 終了 ] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク）。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発注済
[ 全般 ] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付
[ 明細 ] タブ	
	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の受領

- 1 発注PC10 - EST002の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [ 終了 ] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。  
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	元の依頼で選択されたモデルが表示されます ( PC9 - ガソリン )。
[ 全般 ] タブ	
数量 ( fQty )	500 PC9 - I
	<b>注意:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性と単位に従って数量が表示されます。</li><li>■ 実用例実用例10a-パッケージング [ 献 153 ] が行われると、400の受領ユニットが自動的に100の受領ユニットに追加されます。</li></ul>
単価 ( mAvgPrice )	0.01

### 警告:

数量で表示された製品を受領したときに、AssetCenterによって、同一モデルに関連付けられ同一の場所、ユーザ、または在庫に関連付けられたポートフォリオ品目が見つからない場合は新しいポートフォリオ品目のみが作成されます。

AssetCenterによってそのようなポートフォリオ品目が見つかった場合は、受領した数量がポートフォリオ品目の既存の数量にそのまま追加されます。

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。



# 15 予約

---

## 基本概念

AssetCenterでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 発注する予定のポートフォリオ品目

ポートフォリオ品目は、依頼時に依頼明細レベルで予約されます。

在庫中で予約されたポートフォリオ品目は、発注するポートフォリオ品目の数から差し引かれます。

例: 3つのUSBキーを依頼するときに1つを在庫中で予約する場合、発注するのは2つだけです。

---

## 手順

### 在庫中のポートフォリオ品目を予約する

在庫中のポートフォリオ品目を予約するには

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [ 明細 ] タブを表示します。
- 4 依頼明細の詳細画面を表示します。

- 5 [予約]タブを表示します。
- 6 予約を追加して、特に以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目 (Assignment)	予約する在庫中のポートフォリオ品目
[全般]タブ	
数量 (fQty)	単位がポートフォリオ品目のモデルに関連付けられている場合に予約する数量 ([使用単位] (UseUnit) フィールド)

#### 警告:

依頼明細に基づいて見積または発注が作成された後に、この依頼明細に予約を追加することはできません。

見積作成後に予約を追加しなくてはならない場合、見積を発注に変換することができません (依頼、予約、見積の数量に不整合が生じるため)。

発注作成後に予約を追加しなくてはならない場合は、発注を受領することによって、在庫中の予約済みポートフォリオ品目を考慮に入れることなく、新しいポートフォリオ品目が作成されます。

#### 注意:

予約情報が、ポートフォリオ品目に関連付けられた資産の詳細画面の [ポートフォリオ] タブページ / [予約] サブタブページに表示されます。

## 発注するポートフォリオ品目を予約する

発注時にモデルを予約するには、次の手順に従います。

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク)。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 予約するモデルの依頼明細の詳細画面を表示します。
- 5 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般]タブ	
ユーザ (User)	ポートフォリオ品目を予約する部署または従業員

フィールドまたはリンク	値
即時割当 (blnstantAssign)	<ul style="list-style-type: none"> <li>このオプションを選択する場合、ポートフォリオ受領品目が次のように入力されます。</li> </ul>

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割当 (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	依頼明細に指定されたユーザ

- このオプションを選択しない場合、ポートフォリオ受領品目が次のように入力されます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割当 (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	依頼明細で選択された在庫
[予約] タブ	
依頼明細で指定したユーザのために予約が作成されます。	



#### 警告:

[ユーザ] フィールドは、依頼と依頼明細にのみ表示されます。発注と発注明細には表示されません。

## 実用例11 - 予約

### はじめに

この実用例は、ポートフォリオ品目の依頼時にポートフォリオ品目を予約する方法と、調達サイクルに与える影響を示すことを目的としています。

特に、この処理で管理条件を扱うとともにモデルに関連付けられた属性のレベルで定義された単位を扱うことが明らかになります。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

- 実用例9 - 計量単位 [ 献 144]
- 実用例10a - パッケージング [ 献 153]

## シナリオ

さまざまなポートフォリオ品目を依頼します。

これらのモデルの中には、「PC1-小林」氏のために予約されるものがあります。残りのモデルの中のいくつかは、受領時に「PC1-小林」氏に直接割り当てられ、その他はユーザなしのポートフォリオに入れられるか、在庫に割り当てられます。

依頼モデル	「PC1-小林」氏用に在庫「PC1-在庫」内で予約するには	「PC1-小林」氏用に発注して受領時に直接割り当てるには	「PC1-小林」氏用に発注して受領時に在庫に入庫して予約するには	予約作成なしで発注して在庫「PC1-在庫」内に置くには
5 PC1 - HP Compaqデスクトップ	1			4
20 PC10 - インクカートリッジ	1	6		12
700リットルのPC9 - ガソリン	100		100	500

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- ポートフォリオ品目が受領されます。
- 受領品目が在庫から取り出されます。

## 作成

### 在庫中のポートフォリオ品目の作成

- 1 ポートフォリオ品目を表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目 ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC10 - インクカートリッジ
入力したものを確認するか、他のフィールドをクリックします。次のフィールドの編集が可能になります。	
数量 ( fQty )	2
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC9 - ガソリン
数量 ( fQty )	200
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫

3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 [ 依頼を作成... ] ウィザードを開始します ( ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成 ] リンク )。
- 2 [ 依頼を作成 ] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
モデル	PC1 - デスクトップ
[ 追加 ] の右のフィールド	数量として5を指定します。
	<b>注意:</b>
	発注4 + 在庫1

[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC11 - 予約付きの依頼
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC11 - 予約付きの依頼
ステータス ( seStatus )	準備中
[ 明細 ] タブ	モデル「PC1-デスクトップ」に対応する依頼明細

4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( amRequest )	PC11 - REQ001

- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 発注明細「5 PC1 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割当 ( binstantAssign )	いいえ
ユーザ ( User )	このリンクは空白にします。
[ 購入 ] タブ	
配達先在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫

- 8 [ 予約 ] タブを選択します。
- 9 予約を追加し、以下の表に指定したフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目 ( Assignment )	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ
[ 全般 ] タブ	
予約者 ( Reserver )	PC1 - 小林

- 10 依頼明細の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 11 依頼の詳細画面を閉じます ( Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク )。
- 12 次のテーブルに対応する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
詳細 ( LineDesc )	PC10 - インクカートリッジ

フィールドまたはリンク	値
即時割当 (blnstantAssign)	なし
数量 (fQty)	12
モデル (Model)	PC10- インクカートリッジ
ユーザ (User)	このリンクは空白にします。
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC10- インクカートリッジ
即時割当 (blnstantAssign)	はい
数量 (fQty)	7
モデル (Model)	PC10- インクカートリッジ
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
予約の追加	
ポートフォリオ品目 (Assignment)	PC10- インクカートリッジ
[全般] タブ	
数量 (fQty)	1
予約者 (Reserver)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC9- ガソリン
即時割当 (blnstantAssign)	なし
数量 (fQty)	200
モデル (Model)	PC9- ガソリン
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
予約を追加します。	
ポートフォリオ品目 (Assignment)	PC9- ガソリン
[全般] タブ	
数量 (fQty)	100
予約者 (Reserver)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC9- ガソリン
即時割当 (blnstantAssign)	いいえ
数量 (fQty)	500
モデル (Model)	PC9- ガソリン
ユーザ (User)	このリンクは空白にします。
[購入] タブ	

フィールドまたはリンク	値
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

 **注意:**

「PC1 - 小林」氏用に予約された依頼明細と予約されていない依頼明細とを識別するために、「PC10 - インクカートリッジ」と「PC9 - ガソリン」の各モデルごとに2つの依頼明細を作成する必要があります (1つの依頼明細の一部を予約することはできません)。

- 13 依頼の変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 14 依頼の詳細画面を表示したままにします。

### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC11 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント: [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント: [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ Generate a PC11 - REQ001 estimate ( PC11 - REQ001見積を作成 ) ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC1 - デスクトップ 4 4 PC2 - デスクトップ ( PC1 - MySupplier ) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC10 - インクカートリッジ 12 2 PC10 - インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC10 - インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC10 - インクカートリッジ 6 1 PC10 - インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) PC10 - インクカートリッジ 100 USD 5%

フィールドまたはリンク	値
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ]	ボタンをクリックします。
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC10-インクカートリッジ ( PC1 - MySupplier ) PC10 -インクカートリッジ 100USD5%0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ]	をクリックします。
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC9 - ガソリン 500 5 PC9 - ガソリン ( PC1 - My supplier ) PC9 - ガソリン 1 USD 5%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ]	ボタンをクリックします。
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC9 - ガソリン ( PC1 - My supplier ) PC9 - ガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ]	をクリックします。
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン ( PC1 - My supplier ) PC9 - ガソリン 1 USD 5%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ]	ボタンをクリックします。
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC9 - ガソリン ( PC1 - My supplier ) PC9 - ガソリン 1 USD 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ]	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積依頼済
[ 全般 ] タブ	
元の依頼明細 ( Request )	PC11 - REQ001 ( PC11 - 予約付きの依頼 )
[ 明細 ] タブ	
	見積の作成ウィザードを使用して選択されたカタ ログリファレンスに対応する発注明細

5 見積に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するには、以下の表に示すようにフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済
番号 ( PONumber )	PC11 - EST001

6 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ) 。

7 見積の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積PC11 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [発行] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [終了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク）。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。  
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	発注済
[全般] タブ	
発行日 ( dtSent )	現在の日付

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の受領

- 1 発注PC11 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [受領] をクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [終了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。  
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。  
依頼された5品目から在庫中に予約される1品目を引いた数に相当する4つの「PC1 - デスクトップ」:

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ
[全般] タブ	
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
	リストは空白です。

「800 PC9 - リトル」の「PC9 - ガソリン」:

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC9 - ガソリン
[ 全般 ] タブ	
数量 ( fQty )	800、以下の合計: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既在庫にあり、予約されていない100リットル</li> <li>■ 既在庫にあり、「PC1 - 小林」氏用に予約されている100リットル</li> <li>■ 発注され、「PC1 - 小林」氏に割り当てられている100リットル</li> <li>■ 発注され在庫「PC1-在庫」内で受領される500リットル</li> </ul>
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫
[ 予約 ] タブ	2つの予約があります <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 依頼に対して、1つの予約</li> <li>■ 発注明細から自動的に作成され、「PC1-小林」氏に割り当てられ、在庫で受領された予約</li> </ul>

#### 14 「PC10-インクカートリッジ」:

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC10- インクカートリッジ
[ 全般 ] タブ	
数量 ( fQty )	12カートリッジが注文中で、在庫「PC1-在庫」として受領され、既在庫にある2つのカートリッジに追加されます。
割当 ( seAssignment )	在庫中
在庫 ( Stock )	PC1 - 在庫
[ 予約 ] タブ	Pc1 - 小林氏のための予約

#### 6 「PC10-インクカートリッジ」:

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC10- インクカートリッジ
[ 全般 ] タブ	
数量 ( fQty )	6
ユーザ ( User )	PC1 - 小林

#### 6 すべてのウィンドウを閉じます。

## 在庫内の品目の発注



### 警告:

この発注の書式内の見積を発行する [ 献134 ] の部はWindowsクライアントにのみ適用されます。

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 発注 ] リンク)。
- 2 発注「PC11 - EST001」の詳細画面を表示します。
- 3 [ トラッキング ] タブを選択します。
- 4 [ 予約 ] の分岐点をクリックします。
- 5 「XXXXXX (1 PC1 - デスクトップ)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。
- 6 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します ([ ポートフォリオ品目 ] リンク (Assignment) の右側にある拡大鏡)。
- 7 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
割当 (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
使用開始日 (dAssignment)	現在の日付

- 8 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます ([ 閉じる ] ボタン)。
- 9 予約の詳細画面を閉じます ([ 閉じる ] ボタン)。
- 10 「XXXXXX (100 PC9 - ガソリン)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。
- 11 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します ([ ポートフォリオ品目 ] リンク (Assignment) の右側にある拡大鏡)。
- 12 ロットを分割します ([ 分割 ] ボタン)。
- 13 ロットの分割ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ ロットの分割 ] ページ	
抽出数	100
割当	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
責任者	PC1 - 小林
使用開始日	現在の日付
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。	

- 14 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます ([ 閉じる ] ボタン)。
- 15 予約の詳細画面を閉じます ([ 閉じる ] ボタン)。

- 16 「XXXXXX(100PC9-ガソリン)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 17 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（ [ポートフォリオ品目] リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
- 18 ロットを分割します（ [分割] ボタン）。
- 19 ロットの分割ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ ロットの分割 ] ページ	
抽出数	100
割当	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
使用開始日	現在の日付
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク）。	

- 20 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（ [閉じる] ボタン）。
- 21 予約の詳細画面を閉じます（ [閉じる] ボタン）。
- 22 「XXXXXX(1PC10-インクカートリッジ)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 23 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（ [ポートフォリオ品目] リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
- 24 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
割当（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	現在の日付

- 25 すべてのウィンドウを閉じます。



# 16 交換

---

## 基本概念

購入依頼の詳細画面では、交換する資産を指定することができます。交換対象資産のリストは、単なる情報として提示されています。交換につながる操作が受領時に自動的に行われることはありません。

---

## 手順

資産を発注によって交換することを指定するには

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [ 交換 ] タブを表示します。
- 4 交換する資産を追加します（Windowsクライアントでは [ + ] ボタン、Webクライアントでは [ 追加 ] ）。

## 実用例12 - 交換

### はじめに

この実用例は、資産交換依頼を処理する方法を示すことを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

### シナリオ

「PC1 - 小林」氏の所有するコンピュータ「PC1 - HP Compaq デスクトップ」が動作しなくなりました。

このコンピュータは、同じモデルの他のコンピュータに交換する必要があります。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 新しいコンピュータは、受領され「PC1 - 小林」氏に割り当てられます。
- 古いコンピュータは除却されます。

### 作成

#### 古いコンピュータの作成

- 1 コンピュータを表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / IT / コンピュータ / コンピュータ ] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
資産タグ ( AssetTag )	PC12 - CPU001
[ 全般 ] タブ	
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ
割当 ( seAssignment )	使用中

フィールドまたはリンク	値
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 [ 依頼を作成... ] ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼を作成 ] リンク)。
- 2 依頼を作成ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 依頼を作成 ] ページ	
モデル	PC1 - デスクトップ
[ 追加 ] の右のフィールド	1
[ 追加 ] をクリックします。	
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 新規依頼 ] ページ	
目的	PC12 - 小林氏用コンピュータの交換
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク)。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC12 - REQ001

- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 発注明細「1 PC1 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
即時割当 (blnstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 8 依頼明細の変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 9 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。

- 10 [ 交換 ] タブを選択します。
- 11 資産PC12 - CPU001にリンクを追加します ( [ 資産タグ ] フィールド ( AssetTag ) )。
- 12 依頼の変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 13 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼PC12 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント : [ 見積 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント : [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 見積 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を見積の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ Generate a PC12 - REQ001 estimate ( PC12 - REQ001見積を作成 ) ] ページ 明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。 [ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。 [ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
[ 発注する発注明細のリスト ] リスト	PC1 - デスクトップ 11 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リス	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスク トップ 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン )。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク )。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	見積済
番号 ( PONumber )	PC12 - EST001

- 6 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積PC12 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [発行] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [終了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク）。
- 5 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の受領

- 1 発注PC12 - EST001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [受領] をクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（ [終了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。  
モデル「PC1 - デスクトップ」のコンピュータの詳細画面を確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	元の依頼で選択されたモデル (PC1 - デスクトップ) が表示されます。
[全般] タブ	
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。

## 「PC1 - 小林」の古いコンピュータを除却する

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク）。
- 2 依頼PC12 - RFP001の詳細画面を表示します。
- 3 [交換] タブを選択します。
- 4 PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ (PC12 - CPU001) PC12 - CPU001の詳細画面を表示します。
- 5 以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ポートフォリオ] タブ	

フィールドまたはリンク	値
割当 ( seAssignment )	除却済(または消費済)

- 6 変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 7 すべてのウィンドウを閉じます。

# 17 作業指示

---

## 基本概念

作業指示は、調達サイクル内で管理可能なサービスです。

作業指示を受領する方法は、そのタイプ（ [タイプ] （ seType ）フィールド）によって決まります。

- 内部メンテナンス
- 契約メンテナンスまたは契約外メンテナンス

調達モジュールに関連付けられた業務データには、次のワークフローチャートがあります。

- 作業指示の自動作成（ BST\_PROCUR\_CREATEWO ）：内部作業指示の作成を自動化します。
- 作業指示のトラッキング（ BST\_PROCUR\_UPDATEWO ）：作業指示を担当する技術者のワークフロータスクを作成します。依頼時に、このワークフロータスクによって、作業指示詳細画面内の特定フィールドの入力に使用されるウィザードがトリガされます。

## 手順

### 内部メンテナンスタイプの作業指示を取得する

- 1 依頼を作成します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク）。  
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成 ( seBasis )	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
[ 作業指示 ] タブ	
タイプ ( seWOType )	内部メンテナンス

- 2 依頼から見積を作成します（ [ 見積 ] ボタン）。

### 契約メンテナンスまたは契約外メンテナンスタイプの作業指示を取得する

- 1 依頼を作成します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク）。  
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成 ( seBasis )	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
[ 作業指示 ] タブ	
タイプ ( seWOType )	契約メンテナンスまたは契約外メンテナンス

- 2 依頼から見積を作成します（ [ 見積 ] ボタン）。

### 内部メンテナンスタイプの作業指示の作成を自動化する

- 1 まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた業務データをAssetCenterデータベースにインポートします。  
▶ 準備段階 [ 献 31 ]。

この方法で、作業指示の自動作成 (BST\_PROCUR\_CREATEWO) ワークフローチャートがデータベースにインポートされます。

- 2 AssetCenter Serverを起動します。
- 3 モジュール実行グループ'BST\_PROCUR'にワークフロー規則を適用 (WkGroupBST\_PROCUR) を設定します ( [ ツール/モジュールの設定 ] メニュー)。
  - ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、作業指示の自動作成 (BST\_PROCUR\_CREATEWO) ワークフローチャートを実行します。

以下は、作業指示の自動作成 (BST\_PROCUR\_CREATEWO) ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 17.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート

トリガ対象のワークフローチャートの条件	定期的トリガ
ワークフローチャートによってトリガされるアクション	作業指示の自動作成 (BST_PROCUR_CREATEWO) ワークフローチャートによって、依頼明細に表示される内部メンテナンスタイプの作業指示が作成されま

## 内部メンテナンスタイプの作業指示の更新を自動化する

- 1 まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた業務データをAssetCenterデータベースにインポートします。
  - ▶ 準備段階 [ 献 31].
- 2 AssetCenter Serverを起動します。
- 3 モジュール実行グループ'BST\_PROCUR'にワークフロー規則を適用 (WkGroupBST\_PROCUR) を設定します ( [ ツール/モジュールの設定 ] メニュー)。
  - ▶ マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節。

この方法でAssetCenter Serverは、実行グループ'STD\_PROCUR'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従っ

て、作業指示のトラッキング (BST\_PROCUR\_UPDATEWO) ワークフローチャートを実行します。

以下は、作業指示のトラッキング (BST\_PROCUR\_UPDATEWO) ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 17.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	作業指示の作成または [ 作業指示 ] ( amWorkOrder ) テーブルの [ 技術者 ] ( Technician ) フィールドの変更		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
	作業指示 ( amWorkOrder )	タイプ ( seType )	内部メンテナンス
	作業指示 ( amWorkOrder )	技術者 ( Technician )	空白ではありません
	作業指示 ( amWorkOrder )	ステータス ( seStatus )	クローズド以外
ワークフローチャートによってトリガされるアクション	ワークフローチャートでは、ワークフロータスクが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 作業指示の更新が呼び出される</li> <li>■ [ 技術者 ] ( Technician ) フィールドに指定された技術者に割り当てられる</li> <li>■ 作業指示にリンクする</li> <li>■ それにより、作業指示の更新 ( UpdateWO ) ウィザードの開始が要求される</li> </ul>		

作業指示の更新 ( UpdateWO ) ウィザードは、作業指示の詳細画面内の特定キーフィールドを簡単に入力するために使用されます。

## 実用例13 - 作業指示

### はじめに

この実用例は、作業指示の調達サイクル内のさまざまな段階を示すとともに、作業指示タイプによって異なる各段階を説明することを目的としています。

### 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36 ]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49 ]

## シナリオ

「PC1-小林」氏は、コンピュータ「PC1-HPCompaqデスクトップ」、コンピュータをインストールする契約外作業指示、コンピュータをネットワークに接続する内部作業指示を依頼します。

このためには、以下の作業が必要です。

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと内部の作業指示が作成されます。
- コンピュータと外部の作業指示が受領されます。

## 作成

### 依頼の作成

- 1 [依頼を作成...] ウィザードを開始します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼を作成] リンク)。
- 2 [依頼を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[依頼を作成] ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>■ PC1 - デスクトップ</li><li>■ PC1 - コンピュータのインストール</li><li>■ PC1 - コンピュータの接続</li></ul>
[追加] の右のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC13 - コンピュータの購入と接続
依頼者 (Requester)	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC13 - REQ001

- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 依頼明細「1 PC1 - デスクトップ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
即時割当 (blstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 8 依頼明細の変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 9 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。
- 10 発注明細「1 PC1 - コンピュータの接続 PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
- 11 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
即時割当 (blstantAssign)	はい
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 PC1 - デスクトップ

- 12 依頼明細の変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。
- 13 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [ 閉じる ] ボタン、Webクライアントでは [ ドキュメントに戻る ] リンク)。
- 14 依頼明細「1 PC1 - コンピュータのインストール PC1 - 技術者」の詳細画面が表示されます。
- 15 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
即時割当 (blstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 PC1 - デスクトップ

- 16 依頼明細の変更を確定します (Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] )。

- 17 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 18 依頼の変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存])。
- 19 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 内部作業指示の作成

- 1 依頼PC13-REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス ( seStatus )	承認済

- 3 これらの変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存])。
- 4 Windowsクライアント: [実行] をクリックします。  
Webクライアント: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [実行] を選択します。
- 5 発注を作成しない品目を作成するウィザードに以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を作成しない品目を作成する] ページ	
ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 6  **警告:**  
内部作業指示の作成 [ 献 191]の部の残りはWindowsクライアントにのみ適用されます。  
[トラッキング] タブを表示します。
- 7 [作業指示] の分岐点をクリックします。
- 8 作業指示「PC1-コンピュータの接続」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 ( dtNotif )	作業指示の作成の日付と時間

フィールドまたはリンク	値
資産 (Asset)	このリンクには当面入力されません。 資産が作成されたときに入力されます。

- 9 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 10 依頼の詳細画面を表示したままにします。

#### 依頼から発注を作成する

- 1 依頼PC13 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発注 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発注 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 見積を作成 PC13 - REQ001 ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	

#### ヒント:

「PC1 - コンピュータの接続」が選択されていないことに注意してください。  
このタイプは内部メンテナンスであるため、サプライヤに発注する必要がありません。

[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC1 - デスクトップ 11 PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - デスクトップ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップ 1,000 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	PC1 - コンピュータのインストール 11 PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier) PC2 - コンピュータのインストール 400 USD 10%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier) PC2 - コンピュータのインストール 400 USD 10% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。	

フィールドまたはリンク	値
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。	

- 4 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 発注に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC13 - PO001

- 6 これらの変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] )。
- 7 発注の詳細画面を表示したままにします。

### 発注する

- 1 発注見積PC13 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [発行] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

### 発注の受領

- 1 発注PC13 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [受領] をクリックします。  
Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [終了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [前へ] リンク)。
- 5 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
- 6 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割当 (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
使用開始日 ( dAssignment )	受領日

- 7 [ メンテナンス ] タブを表示します。
- 8 作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」の詳細画面を表示し、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 ( dtNotif )	作業指示の作成の日付と時間
資産 ( Asset )	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ
依頼者 ( Requester )	PC1 - 小林

- 9 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 10 作業指示「PC1 - コンピュータの接続」の詳細画面を表示します。  
この作業指示は、作業指示の受領前に作成されましたが、次のリンクがまだ入力されていません。

フィールドまたはリンク	値
資産 ( Asset )	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ

- 11 すべてのウィンドウを閉じます。

## 18 在庫の自動再発注

AssetCenterでは、在庫補充用に自動発注を作成する規則を設定することができます。

AssetCenter Serverでは、在庫規則がモニタされ、必要に応じて再発注明細が作成されます。

続いて、これらの依頼を探して調達サイクルを通して処理するのは、ユーザの作業です。

▶マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「在庫」の節。



# 19 リース

---

## 基本概念

AssetCenterでは、リース契約を使用して資産の取得を管理することができます。

### リースの定義

リース契約はリース同意事項の説明です。このタイプの契約をファイナンス契約と呼ぶことがあります。

このタイプの契約は、長期にわたるレンタルの同意事項の書式です。賃貸料に対して資産を一定期間使用する権限を借主に与えます。

借主または顧客は、実際に所有することなく機器を完全に使用することができます。

借主は、賃貸する資産の法的な所有者である貸主に賃貸料を支払います。

### AssetCenterによってリース資産の取得を管理する方法

リース契約は、[ 契約 ] ( amContract ) テーブルに記述されます。\$\$\$\$\$

次に、リース契約を基準として、発注を作成できます。

リース契約のリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼明細のデフォルトの動作を定義します。
依頼明細	依頼された品目がリース契約によって資金が供給されることを指定します。

 **警告:**

]ファイナンス契約発注明細レベルと依頼明細レベルの (AcquContract) フィールドは、考慮されません。

## 必要条件

リース契約の作成を可能にするためには、AssetCenterユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスできる必要があります。

## 手順

### 資産の取得に資金を供給するために使用するリース契約を作成する

資産の取得に資金を供給するためにリース契約を作成するには

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [ 契約 / 契約 ] リンク)。
- 2 新しい契約を作成します ( [ 新規作成 ] ボタン)。

特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ ( seType )	リース明細
[ 全般 ] タブ	
支払属性 ( sePayType )	リストデータに表示されるその他の値
取得方法 ( seAcquMethod )	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンタル</li> <li>■ リース</li> </ul>
[ リース ] タブ	
貸主 ( Lessor )	このリンクは、依頼、見積、および発注で使用されるサプライヤと同一である必要があります。
[ 資産(リース) ] タブ	資産を直接作成しないでください。資産は、発注の受領時に作成されます。

フィールドまたはリンク	値
[賃貸料] タブ	資産の受領前に賃貸料を作成しないでください。

## リース契約によって資金が供給される資産の依頼を作成する

受領時に資産が直接リース契約にリンクされる依頼を作成するには

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク）。
- 2 新規依頼を作成します（ [ 新規作成 ] ボタン）。
- 3 依頼の詳細画面に入力します。
- 4 新規の依頼を追加します（Windowsクライアントでは [ 作成 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 5 [ 明細 ] タブを選択します。
- 6 資産の最初の依頼明細を追加します。  
特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
リース明細にリンク ( bUsesAcquCntr )	はい
ファイナンス契約 ( AcquContract )	ファイナンス契約の選択

- 7 作成された依頼明細を保存します（ [ 追加 ] ボタン）。
- 8 依頼に加えられた変更を保存します（Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。
- 9 資産をファイナンス契約にリンクするために、第2の依頼明細を追加します。  
特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 ( bCntrUtilization )	はい
依頼する契約 ( UsedReqLineCntr )	このリンクは空白にします。
依頼する品目 ( UsedReqLineAsset )	資産に作成された依頼明細を選択します。

- 10 作成された依頼明細を保存します（ [ 追加 ] ボタン）。
- 11 依頼に加えられた変更を保存します（Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ）。

## リース契約によって資金が供給される資産の見積、発注、および受領伝票を作成する

調達サイクルの残りの部分については、一般的な例に従います。

受領する資産は、リース契約に関連付けられます。

## リース契約によって資金が供給される資産の賃貸料を定義する

資産を受領した後は、マニュアル『契約』の記述に従って、賃貸料を作成し、資産を検収し、経費明細の取得を作成します。

## 20 契約



この章はWindowsクライアントにのみ適用されます。

---

### 基本概念

調達サイクルを使用すると、資産の契約との関連を管理することができます。既存の契約または取得予定の契約を参照することができます。既存の資産または取得予定の資産を参照することができます。可能性のある4つの組合せを以下に示します。

### 手順

#### 既存の契約を既存の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク)。
- 2 [ 明細 ] タブを選択します。
- 3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	資産に関連付ける契約を選択します。
[依頼する品目] (UsedReqLineAsset) フィールドの右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	契約に関連付ける資産を選択します。

- 4 調達サイクルを続行します。

## 既存の契約を新規の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク)。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	新規資産のモデルを選択します。

- 4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	資産に関連付ける契約を選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	新規資産の依頼明細を選択します。

- 5 調達サイクルを続行します。

## 新規の契約を既存の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク)。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 ( bCntrUtilization )	いいえ
モデル ( Model )	既存の資産に関連付ける新規契約のモデルを選択します。
[ 依頼する品目 ] ( UsedReqLineAsset ) フィールドの右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 ( UsedAsset )	契約に関連付ける資産を選択します。

- 4 調達サイクルを続行します。

### 新規契約を新規資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します ( ナビゲーションバーの [ 調達 / 依頼 ] リンク )。
- 2 [ 明細 ] タブを選択します。
- 3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
契約の使用 ( bCntrUtilization )	いいえ
モデル ( Model )	新規資産のモデルを選択します。

- 4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ 全般 ] タブ	
契約の使用 ( bCntrUtilization )	いいえ
モデル ( Model )	新規契約のモデルを選択します。
依頼する品目 ( UsedReqLineAsset )	新規資産の依頼明細を選択します。

- 5 調達サイクルを続行します。

## 実用例14 - 契約

### はじめに

この実用例は、契約を資産に関連付ける方法を示すことを目的としています。4つの組合せ ( 既存または新規の契約、既存または新規の資産 ) が対象となります。

## 必要条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [ 献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [ 献 49]

## シナリオ

以下のことを行います。

- 既存の契約「PC1-メンテナンス契約」を既存の資産「PC1-デスクトップ」にリンクします。
- 既存の契約「PC1-メンテナンス契約」を新規の資産「PC1-外付けCDライター」にリンクします。
- 新規の契約「PC1-保証」を既存の資産「PC1-デスクトップ」にリンクします。
- 新規の契約「PC1-保証」を新規の資産「PC1-外付けCDライター」にリンクします。

## 作成

### 既存の資産の作成

- 1 資産を表示します（ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 資産 ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル ( Model )	PC1 - デスクトップ
[ 全般 ] タブ	
資産タグ ( AssetTag )	PC14 - 001

- 4 資産の作成を確定します（ [ 作成 ] ボタン）。
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

### 既存の契約の作成

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [ 契約 / 契約 ] リンク）。
- 2 [ 新規作成 ] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC14 - 001
モデル (Model)	PC1 - メンテナンス契約
[全般] タブ	
会社 (Company)	PC1 - MySupplier

- 4 契約の作成を確定します ( [作成] ボタン )。
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

#### 依頼の作成

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 依頼] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC14 - 契約をポートフォリオ品目に関連付ける
番号 (amRequest)	PC14 - REQ001

- 5 依頼の作成を確定します ( [作成] ボタン )。
- 6 [明細] タブを選択します。
- 7 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します ( [ + ] ボタン )。

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	契約PC14 - 001を資産PC14 - 001にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	PC14 - 001 (PC1 - メンテナンス契約)
[依頼する品目] (UsedReqLineAsset) フィールドの右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップ (PC14 - 001)

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	新規PC1 - 外付けCDライター
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
以下の依頼明細を作成可能にするには、まず依頼への変更を確定する必要があります (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] )。	

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	契約PC14-001を1 新規PC1-外付けCDライターに結び付ける
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	PC14-001 (PC1-メンテナンス契約)
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 新規PC1-外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	新規PC1-保証
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	PC1-保証

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「1 新規PC1-保証」を資産「PC14-001」にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr)	1 新規PC1-保証
[依頼する品目] (UsedReqLineAsset) フィールドの右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	PC1-HP Compaq PC1-デスクトップ (PC14-001)

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「1 新規PC1-保証」を「1 新規PC1-CDライター」にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr)	1 新規PC1-保証
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 新規PC1-外付けCDライター

- 8 作成された依頼明細の詳細画面を閉じます。
- 9 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済

- 10 依頼の変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] )。

11 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から新規品目の発注を作成する

- 1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発注 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発注 ] を選択します。
- 3 以下の表に示す値を発注の作成ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ PC14 - REQ001の見積を作成する ] ページ	
明細をすべて含める	はい
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 明細を選択する ] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[ 次へ ] をクリックします。	
[ 依頼が使用するリファレンスを変更する ] ページ	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	新規PC1 - 外付けCDライター 1 1 PC2 - 外付けCDライター ( PC1 - MySupplier ) PC2 - 外付けCDライター 150 USD 0%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - 外付けCDライター ( PC1 - MySupplier ) PC2 - 外付けCDライター 150 USD 0% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
[ 依頼明細のリスト ] リスト	新規PC1 - 保証 1 1 PC2 - 保証 ( PC1 - MySupplier ) PC2 - 保証 50 USD 0%
[ 対応するカタログリファレンスのリストの表示 ] ボタンをクリックします。	
[ 対応するカタログリファレンスのリスト ] リスト	PC2 - 保証 ( PC1 - MySupplier ) PC2 - 保証 50 USD 0% 0 PC1 - MySupplier
[ 選択されたリファレンスを依頼に関連付ける ] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。	
ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。	

- 4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 発注に番号を指定して、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 ( PONumber )	PC14 - PO001

- 6 これらの変更を確定します ( Windowsクライアントでは [ 変更 ] ボタン、Webクライアントでは [ 保存 ] ) 。
- 7 発注の詳細画面を表示したままにします。

## 発注する

- 1 発注PC14 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 発行 ] ボタンをクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 発行 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

## 発注の受領

- 1 発注PC14 - PO001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 受領 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 受領 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面がAssetCenterによって表示されます。
- 6 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます。
- 7 発注の詳細画面を閉じます。
- 8 依頼の詳細画面を表示したままにします。

## 既存の契約のリンクを作成する

- 1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 Windowsクライアント： [ 実行 ] をクリックします。  
Webクライアント： [ 状況依存アクション ] ドロップダウンリストから [ 実行 ] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ( [ 終了 ] ボタン ) 。
- 4 ウィザードを終了します ( Windowsクライアントでは [ OK ] ボタン、Webクライアントでは [ 前へ ] リンク ) 。
- 5 依頼の詳細画面を表示したままにします。

## 結果を確認する



この部はWindowsクライアントにのみ適用されます。

- 
- 1 依頼PC14 - REQ001の詳細画面が表示されていることを確認します。

- 2 [ トラッキング ] タブを選択します。
- 3 [ 資産 ] の分岐点をクリックします。
- 4 新規資産PC1 - HP Compaq PC1 - 外付けCDライターが表示されます。これは、発注の受領時に作成されました。
- 5 資産「PC1 - HP Compaq PC1 - 外付けCDライター」の詳細画面を表示し、タブ [ 契約 ] を選択します。既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」と受領された新規の契約「PC1 - 保証」のリンクが適切に作成されています。
- 6 資産の詳細画面を閉じます。
- 7 すべてのウィンドウを閉じます。
- 8 資産を表示します (ナビゲーションバーの [ ポートフォリオ管理 / 資産 ] リンク)。
- 9 [ 資産タグ ] ( AssetTag ) フィールドが「PC14 - 001」に設定された資産の詳細画面が表示されます。
- 10 [ 契約 ] タブを選択します。既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」と受領された新規の契約「PC1 - 保証」のリンクが適切に作成されています。
- 11 すべてのウィンドウを閉じます。



---

## III 付録



# A 用語解説

この用語解説では、調達モジュールで使用される主要な用語を定義します。

## 資産

[資産]テーブル内のレコードは、個々のトラッキングを必要とする重要な値のポートフォリオ品目です。

AssetCenterで、各資産はリンクされた2つのレコードに対応します。

- 最初のレコードは [ポートフォリオ品目] テーブル内にあります。
- 2つめのレコードは [資産] テーブル ( [ポートフォリオ品目] テーブルのオーバーフローテーブル) 内にあります。

作成されたポートフォリオ品目によって [資産] テーブルにレコードを作成するためには、このポートフォリオ品目のモデルの属性内で [管理条件] ( seMgtConstraint ) フィールドを「固定資産タグ」に設定する必要があります。すべての資産がポートフォリオ品目であるとは言えますが、すべてのポートフォリオ品目が資産であるとは言えません。

### 関連する概念

- ポートフォリオ品目 [ 献 217 ]
- 属性 [ 献 221 ]
- モデル [ 献 220 ]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
資産 ( amAsset )

---

## カタログ

カタログは、サプライヤから取得可能なものを記述するために使用されます。

関連する概念

- 製品 [ 献 222]
- カタログリファレンス [ 献 223]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
カタログ ( amCatalog )

---

## 分類規格

製品の分類に使用する規格。

関連する概念

- 分類コード [ 献 214]

## 分類コード

製品の分類に使用される分類規格によって定義されるコード

関連する概念

- 分類規格 [ 献 214]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
分類コード ( amProdClassCode )

---

## 発注

発注には、任意のサプライヤから取得するカタログリファレンスのリストが含まれます。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。[ステータス] (seStatus) フィールドによって、二者を区別します。

### 関連する概念

- 見積 [ 献 217]
- 発注明細 [ 献 219]

これらのオブジェクトを記述する **AssetCenter** データベーステーブル

発注 ( amOrder )

---

## 依頼テンプレート

発注するために使用できるモデル

### 関連する概念

- 発注 [ 献 215]

これらのオブジェクトを記述する **AssetCenter** データベーステーブル

発注 ( amPOrder )

---

## 発注された品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領する前でも発注済みの品目に対応するレコードを作成することができます。

発注されたすべての製品属性に当てはまります。

これを行うと、これらの品目が発注されたらすぐにこれらの品目に対してビジネスプロセス ( 作業指示の計画、研修など ) を開始することができます。

---

## 調達サイクル

調達サイクルは、次の段階を1つにつなぎ合わせます。

- 1 依頼 [ 献 216]
- 2 見積 [ 献 217]
- 3 発注 [ 献 215]
- 4 受領 [ 献 222]
- 5 請求書 [ 献 218]

---

## 依頼

依頼を使用すると、必要な場合にモデルへの参照を作成しカタログリファレンスを使用することによって、要求を記述することができます。

発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

AssetCenterでは、購入依頼（ [ 調達 / 購入依頼 ] メニューで作成 ）と社内依頼（ [ ポートフォリオ / 社内依頼 ] メニューで作成 ）の間にわずかな違いがあります。

社内依頼と発注は、同じレコードで表されます。 [ 調達 / 購入依頼 ] と [ ポートフォリオ / 社内依頼 ] メニューには、両方とも同じ依頼リストが表示されます。社内依頼の詳細画面には、 [ 見積 ] と [ 発注 ] ボタンが含まれないという制限があります。

これらの違いにより、調達モジュール（つまり [ 調達 ] メニュー）にアクセスできないがポートフォリオモジュールにアクセスできるユーザが依然として [ ポートフォリオ / 社内依頼 ] メニューを使用して依頼を作成することができます。

### 関連する概念

- 依頼明細 [ 献 218]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

依頼（ amRequest ）

---

## 標準依頼

依頼を作成するために使用できるモデル

### 関連する概念

- 依頼 [ 献 216]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

依頼 ( amRequest )

---

## 見積

見積を使用すると、実際に行われる発注を記述することができます。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。 [ ステータス ] ( seStatus ) フィールドによって、二者を区別します。

通常、見積は依頼から作成されます。

例外として、依頼を作成せずに見積を作成できます。

この場合、見積内の [ 発行 ] ボタンをクリックすると、依頼が自動的に作成されます。

### 関連する概念

- 発注 [ 献 215]
- 発注明細 [ 献 219]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

発注 ( amOrder )

---

## ポートフォリオ品目

[ ポートフォリオ品目 ] テーブル内のレコードは、その任意管理項目を継承する元のモデルに基づきます。

ポートフォリオ品目の値に応じて、ポートフォリオ品目に基づくモデルの属性のレベルで管理条件が選択されます。

この条件により、各品目を資産、ロット、またはトラッキングされないロットとして作成することができます。

ポートフォリオ品目のモデルの属性に指定されたオーバーフローテーブルに応じて、[ ポートフォリオ品目 ] テーブルに作成されたレコードがリンクされたレコードと共に次のいずれかのテーブルに作成されます。

- 資産テーブル
- コンピュータテーブル

- 電話テーブル
- ソフトウェアのインストールテーブル

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
ポートフォリオ品目 ( amPortfolio )

---

## 実行

この手順は、発注が作成されることにならない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
  - 契約をポートフォリオ品目にリンクする
- 

## 請求書

請求書を使用すると、サプライヤからの請求を記録することができます。  
請求書を作成する最も理にかなった方法は、受領伝票の詳細から作成する方法です。

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
請求書 ( amInvoice )

---

## オプショングループ

オプショングループは、発注内で製品を選択するときのオプションのグループです。

例: オプション3-doorと5-doorが含まれるドアの数グループ

---

## 依頼明細

依頼は、依頼明細で構成されます。

各依頼明細は、任意のモデルと関係があり、このモデルに基づいて要求が記述されます。

### 関連する概念

- 依頼 [ 献 216]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

依頼明細 ( amReqLine )

---

## 発注明細

発注は、発注明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、このリファレンスの取引条件が記述されます。

### 関連する概念

- 発注 [ 献 215]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

発注明細 ( amPOrdLine )

---

## 見積明細

発注と見積は同一テーブルで作成されます。識別は、[ ステータス ] ( seStatus ) フィールドで行えます。

発注明細と見積り明細は、[ 発注明細 ] ( amPOrdLine ) テーブルで作成されま

す。  
各発注明細は特定のカタログリファレンスと対応し、このリファレンスの取引条件を説明します。

### 関連する概念

- 見積 [ 献 217]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

発注明細 ( amPOrdLine )

---

## 請求明細

請求書は、請求明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、カタログリファレンスがサプライヤによって請求された方法が記述されます。

### 関連する概念

- 請求書 [ 献 218]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

請求明細 ( amInvoiceLine )

---

## 受領明細

受領伝票は受領明細で構成されます。

各受領明細は、任意のカタログリファレンスに関係があり、カタログリファレンスが受領された方法が記述されます。

### 関連する概念

- 受領 [ 献 222]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル

受領明細 ( amReceiptLine )

---

## モデル

[ モデル ] テーブルのレコードによって、以下のテーブルにレコードを作成することができます。

- ポートフォリオ品目  
ポートフォリオ品目の作成は、以下のいずれかのオーバーフローテーブルにレコードを同時作成することを伴う場合があります。
  - 資産テーブル
  - コンピュータテーブル
  - 電話テーブル
  - ソフトウェアのインストールテーブル

- 作業指示
- 契約
- 研修
- ケーブル

これらの品目のいずれかを作成する時に、その基となるモデルを指定する必要があります。モデル用に入力するデータは、その品目のレコード内に自動的に複製されます。例えば、コンピュータのCPUタイプ、適用税額、契約期間などです。

[モデル] テーブルの階層構造によって、ポートフォリオを系統立てることができます。詳細に限定されたサブモデルを含む汎用モデルを作成することを推奨します。例えば、プリンタ/レーザープリンタ/Lasterjet プリンタ8000DNなどです。

これらのオブジェクトを記述する **AssetCenter** データベーステーブル

モデル ( amModel )

---

## 属性

[属性] テーブルのレコードによって、モデルで作成可能な品目タイプが決まります。モデルを作成する時に、属性を指定する必要があります。モデルはこの特定の属性に基づきます。

属性は以下のモデルで使用できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 研修
- ケーブル

属性を作成する時に、この属性に基づくモデルに影響するいくつかのパラメータを定義します。例えば、[管理条件] フィールド ( seMgtConstraint ) を個別管理しないに設定することにより、[資産] テーブルにレコードがないポートフォリオ品目のモデルを作成できます。

これらのオブジェクトを記述する **AssetCenter** データベーステーブル

属性 ( amNature ) はい

---

## オプション

オプションのコンポーネントは、製品の発注時に使用可能です。

オプションは、オプショングループにまとめられます。

### 関連する概念

- オプショングループ [ 献 218]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
オプション ( amProdOption )

---

## 製品

製品は、取得できる品目、品目セット、またはサービスです。

任意の製品を複数のサプライヤからさまざまな条件で取得可能で、カタログリファレンスの書式で記述されます。

例: 製品「HP VECTRA VL 800」は、Microカタログ内のリファレンスとして使用可能で、Directカタログ内でも参照されます。

製品は、単一オブジェクト ( CPU ) またはオブジェクトのセット ( コンピュータ設定 ) に対応します。

### 関連する概念

- カタログリファレンス [ 献 223]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
製品 ( amProduct )

---

## 返却

オブジェクトを受領後にサプライヤに返却する作業。

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
受領伝票 ( amReceipt )

---

## 受領

商品の配達やサービスの受領を認識して登録する作業。

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
受領伝票 ( amReceipt )

---

## カタログリファレンス

カタログリファレンスには、任意のサプライヤでの任意の製品の取引条件が記述されます。

カタログリファレンスは、カタログ内にまとめられます。

関連する概念

- カタログ [ 献 214 ]

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
カタログリファレンス ( amCatRef )

---

## 予約

AssetCenterでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 発注する予定のポートフォリオ品目

ポートフォリオ品目は、受領時に依頼明細レベルで予約されます。

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
予約 ( amReservation )

---

## オーバースペック

複数の変数を使用する依頼定義の方法。

例: ケーブルの依頼は、ケーブルの長さと同径で定義されます。

---

## 計量単位

パッケージされた製品を表示する単位

これらのオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベーステーブル  
単位 ( amUnit )

# インデックス

- アイコン
  - 調達サイクル-トラッキング, 61
- インストール, 33
- インストールするモジュール, 31
- オーバースペック-定義, 223
- オプション(参考製品)
  - オプショングループ(参考製品)
    - 定義, 218
- カタログ, 45
  - (参考 カタログリファレンス)(参考 製品)
  - インポート, 46
  - サプライヤ-リンク, 46
    - 一般概念, 23
    - 基本概念, 45
    - 作成, 48
      - 実行順序, 48
    - 実用例, 49
    - 手順, 48
    - 定義, 214
- カタログリファレンス
  - 一般概念, 25
  - 作成, 48
  - 定義, 223
- コスト, 113
  - 基本概念, 113
  - 契約, 115
  - 研修会, 114
  - 作業指示
    - 契約メンテナンス, 115
    - 契約外メンテナンス, 115
    - 内部メンテナンス, 116
  - 資産, 113
  - 実用例, 116
- コストカテゴリ(参考 コスト)(参考 リポジトリ)(参考 基本概念)(参考 実用例)
- コストセンタ(参考 コスト)(参考 リポジトリ)
- サプライヤ(参考 リポジトリ)
- データベース
  - 業務データ-インポート
    - 既存のデータベース, 32
    - 新しいデータベース, 32
  - 準備, 31
- パッケージング, 151
  - 基本概念, 151
  - 実用例
    - 計量単位あり, 158
    - 計量単位なし, 153
  - 手順, 152

ブランド (参考 リポジトリ)

ポートフォリオ品目

(参考 予約)

階層, 29

定義, 217

モデル (参考 リポジトリ)

カタロググリファレンスなし, 79

階層, 28

定義, 220

ユーザ (フィールド), 167

ライセンス, 31

リース, 197 (参考 リース)

依頼, 199

管理, 197

基本概念, 197

作成, 198

手順, 198

定義, 197

リポジトリ, 35

レンタル (参考 リース)

依頼, 67

(参考 調達サイクル)

ステータス - 更新の自動化, 73

一般概念, 26

基本概念, 67

作成

カスタム依頼, 70

モデルの選択による, 70

標準依頼から, 69, 68

実行, 96

手順, 68

承認 - 自動化

自動化, 72

定義, 216

標準依頼

依頼を変換する, 68

作成, 68

実用例, 74

定義, 216

明細

階層, 29

追加, 67

追加ボタン, 71

標準依頼から追加する, 71

[ + ] または [ 追加 ] ボタン, 72

明細 - 定義

定義, 218

依頼の受諾 (ワークフロー), 73

業務データ, 32, 32

契約, 201

ファイナンス (参考 リース)

階層, 29

基本概念, 201

資産との関連付け

既存の資産, 202, 201

新規資産, 203, 202

実用例, 203

手順, 201

経費 (参考 コスト)

計量 (参考 計量単位)

計量単位, 143

基本概念, 143

実用例, 144

定義, 223

見積, 77

(参考 調達サイクル)

依頼から作成する

依頼から, 78

一般概念, 27

基本概念, 77

作成

直接作成, 78

手順, 78

定義, 217

明細

Cat ref ボタン, 79

カタロググリファレンスなしのモデル, 79

追加, 77

定義, 219

発注テンプレートから追加する, 80

[ + ] または [ 追加 ] ボタン, 80

交換, 179

基本概念, 179

実用例, 180

手順, 179

購入依頼の承認 (ワークフロー), 72

在庫 (参考 リポジトリ)

(参考 予約)

再発注, 195

作業指示, 185

- 階層, 29
- 基本概念, 185
- 更新を自動化する, 187
- 作成を自動化する, 186
- 実用例, 188
- 手順, 186
  - 契約メンテナンス, 186
  - 契約外メンテナンス, 186
  - 内部メンテナンス, 186
- 作業指示トラッキング (ワークフロー), 187
- 作業指示の自動作成 (ワークフロー), 186
- 作成
  - (参考 受領)
  - 定義, 215
  - 品目を物理的に受領する前に受領する, 97
- 資産
  - (参考 交換)
  - (参考 予約)
  - 契約にリンクする (参考 契約)
  - 定義, 213
- 実行
  - (参考 受領)
  - 手順, 96
  - 定義, 218
- 実用例, 18
- 取得 (参考 調達サイクル)
- 受領
  - (参考 実行)
  - (参考 調達サイクル)
  - 一般概念, 28
  - 受領品目
    - 階層, 28
  - 定義, 222
  - 発注, 98
    - 受領伝票から, 99
    - 発注から, 99
    - 必要条件, 98
  - 明細 - 定義, 220
- 従業員 (参考 リポジトリ)
- 準備段階, 31
- 製品
  - オプション
    - 原則, 46
    - 作成, 49
    - 定義, 221
- パッケージング (参考 パッケージング)
  - 一般概念, 24
  - 階層, 29
  - 作成, 48
  - 定義, 222
  - 複合製品, 129
    - タイプ, 129
    - 実用例, 136, 130
    - 定義, 129
- 製品分類コード
  - 定義, 214
- 請求書, 109
  - (参考 調達サイクル)
  - 一般概念, 28
  - 基本概念, 109
  - 作成
    - 受領伝票から, 110
    - 直接, 110
    - 必要条件, 109
  - 手順, 109
  - 定義, 218
- 明細
  - 追加, 110
  - 定義, 220
- 属性 (参考 リポジトリ)
  - 定義, 221
- 調達 (参考 調達サイクル)
- 調達サイクル
  - (参考 依頼)
  - (参考 見積)
  - (参考 受領)
  - (参考 請求書)
  - (参考 発注)
  - トラッキング, 60
    - アイコン, 61
  - 一般概念, 25
  - 基本概念, 59
  - 実用例, 61
  - 段階, 59
  - 定義, 216
- 発注, 83
  - (参考 調達サイクル)
  - 一括発注, 87
    - 依頼, 88
    - 管理, 87

- 基本概念, 87
- 金額 - 照合更新, 89
- 作成, 88
- 実用例, 90
- 手順, 88
- 定義, 87
- 発注, 89
  - 必要条件, 198, 88
- 一般概念, 27
- 基本概念, 83
- 定義, 215
- 発注された品目を作成する - 実用例, 101
- 発注された品目 - 受領前の作成, 97
- 標準発注, 84
  - ステータスの更新, 85
  - バージョン, 86
  - 依頼から, 85
  - 見積から, 84
  - 手順, 84
- 標準発注 - 定義, 215
- 変更, 83
- 明細 - 定義, 219
- 発注明細 - 階層, 29
- 必要条件, 31
- 部署 (参考 リポジトリ)
- 分類 (参考 分類コード) (参考 分類規格)
- 分類規格
  - 定義, 214
- 返却
  - (参考 受領)
  - 一般概念, 28
  - 手順, 100
  - 定義, 222
- 予約, 165
- ポートフォリオ品目
  - 在庫中, 165
  - 発注方法, 166
- 基本概念, 165
- 在庫中資産, 97
- 実用例, 167
- 手順, 165
- 受領品目を作成する, 98
- 定義, 223

## A

- AssetCenter Database Administrator
  - 業務データ - インポート
    - 既存のデータベース, 32
    - 新しいデータベース, 32

## C

- Cat ref ( ボタン ), 79